



數田年
治春述

音韻啟蒙

上

ホ 2
284
1



敷田年治大人述

音韻啟蒙 全二

明治七年 戊春新刻 柘雲堂鹿田梓



門木 284 卷

音韻啟蒙序
石上る言う支傳へ
上まの蘇世は雅備
まひきりて以さし
かうりるを中む
字の心とけり李
序一。



満よりくそけりくえをいしゆのよみ
さやまによ美福く木あきも印伎
乎之後乃世にひう聲のし耳ああて
刈ちと乃こき架よよとお勢はうお深
く禮ハ古きお備まらわ南うう禮りま
契るのこあはは大人く人原うま元

くそよ是を文字能多う應りよいひ又を
毎ううお堂のこて正し相中あ心は
う交はるう年月のこ過し末はり尔
は難波のこ里うう字福むるるこの
お田の字し末はむ花のう能うまひ
玉粒を琴乃おこきう舞うんうこの

書もの一箱へ禮は此虫の名におあり
如き玉のうら記守をきき出のしんじ
鏡阿きしあ久風のとの遠まはし
庵の雅備言さへ々乃をつゝの字は
と至以は、赤峯阿屋まのり、志
多へ虫の、あまは、海は、う、字は、初

然よすゝめはつり、壺、鷹、か、ま、り
巻にあり、那、ま、世に、志、か、免、む、る、
守、推、柴、の、志、ひ、亭、乞、え、ま、る、
と、頼、山、乃、尾、と、さ、さ、る、さ、く、居、木、の、句、を
一、米、百、園、の、ふ、ろ、ふ、を、さ、免、お、り、ま、九
思、ひ、於、こ、せ、礼、年、の、切、深、り、系、く、と

をく子の数と数まへられしよる此虫の
心ふらよ埋さてんふり乎終よひり
息つきか氣いしを今申る程く
世番元多りつと始しよ終るほひ
執るか幾一言ふ支そくさうと出と
志は。ち明治三年一むり起うくひん

西能國の極こま人かさるまの國人

森禮年

易堂寺西養藏書

音韻啓蒙上卷

篇目

- 正音五十小定まりと云事 上 一
- 五十音全圖 上 九 反切音の事 上 十
- 音韻と云事 上 九 轉韻と云事 上 六
- 異音 上 九 拗音と云事 下 一
- 拗言と云事 下 二 拗例之圖 下 六
- 略音の事 下 七 轉語の格 下 一
- 第一位ふウ音と加る事 下 三 安行引聲 下 四
- 言語の中下ふ安行の音おき事 下 八

○音韻啓蒙上卷

音韻啓蒙上卷

篇目

正音五十小定まりと云事 上 一

五十音全圖 上 九 反切音の事 上 十

音韻と云事 上 九 轉韻と云事 上 六

異音 上 九 拗音と云事 下 一

拗言と云事 下 二 拗例之圖 下 六

略音の事 下 七 轉語の格 下 一

第一位ふウ音と加る事 下 三 安行引聲 下 四

言語の中下ふ安行の音おき事 下 八

○直語より拗語とまりて活用ある事 下四丁

○不定られる假名 下四丁

○万行の言語波行の濁音と轉る例 五十四丁

○吳音漢音と云差別 下五丁

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)

音韻啓蒙上卷

正音と上古より五位十行不定まりり存と何の程より混初

りむ。その五十音の中三音と除き四十七音りて言通り來

まじり 此の五位十行と云ふより皇国上代よりの定まりあり

音聲 あき。かのづり。此と共み増減あめど。皇国ともの上

代を知らむ。今の五十の音み。豆らざる国もあ。又言殖じ

国も有べ。悉曇よて波和の二音一音又混て其差別なく聞

ゆる。如きもあめど。餘々推て知べ。あて音声の正し

き。吾皇國よ過るるあ。と。おも。皇國の古音

と。準繩として。駛古不正の音と。正をぞ。此書の至要あり有る

。是れ皇國後此の事のみありあ。既く各國あり。然例あ

り。悉曇字記。西域記と引て。悉曇梵王所製。原始垂則。四十七
 言。寓物合成。隨事轉用と。見とく。四十七言と。我四十七音と。
 別物をれが混べり。其由下條より云へ。天然の理よ。よら
 べ。上古も何所も。五十音をり。とこそおもほゆ。さて此五
 位十行の中。阿行の阿行とを。アイウエオの五音と云。餘は是
は准て知べし。猶下は圖と出をを見よ
 伊と。夜行の以と。一音は混。又阿行の偃と。和行の字と。
 一音は混。又阿行の衣と。夜行の延と。一音は混。より。おの伊
 以偃字衣延と。言語の上よても。正しく言かりむと。更に疑
 ひもあきと。おの六音の中。三音の隠ろひと。千二三百
 年の前よりむと。見とく。

今、在於乎伊為衣衛の。六音と云へ。三音は言混へて。其分聞とりがときと

思へ。是は奈良朝中での。おの差別とさく。乱をざりしと。略
 く天曆の項をひり。乱を初め。今はいりある。韻學者も。文字
 と離れて。知事
 難くありふり。古書等の中より。隠ろひと。古音
 も。假名も傳へて。存りやあつむと。紀記万葉風土記。其餘の書
 ども。心を用ひて。讀試はし。更に其傳がふ。見とけらると思へば。
 紀記を撰び。和銅養老の項よ。然る定。既に失ひ。お
 出と。近世古學と。あつる。人とのちの中。此五十音の正ふ。心
づりもありて。かふりくふ。云あつる説ども。聞ゆきと。
 其を只。五十音圖の上との見て。必五十の音。ありぬべき
 理。こと。彼悉曇章より。説と立ふ。是ぞ古音の差別と
 云ふ。正しと證と。取出た。如此をり。久しくかくろひたりし。
 ると。未嘗て聞うと。

 古音等の。是は安行の伊。彼も夜行の以なりと。こい。く
 見とくもあきと。左に引くと見よ

阿行の伊

いき息 書紀ハキナカ息長足タシ姫尊ヒメノミ息長ヒキナカ君等猶多ミコトナラニ

いたづき勞 推古天皇紀の哥ウタ小コ鬼加オニカ陪摩ヘイマ都羅武ツラヒ宇多豆紀ウタマツキ摩

都派ツルとあるハ仕奉シタマフ勞奉ロウホウなり。去の宇多豆紀ハ勞

きふおあキフオアりれハ阿行の偃ウツ之

いとけあイトケア切

仁德天皇紀ニトク天皇ミコ幼而聰明オホシロク叡智エチ云々。是を於オ

通へまが。必阿行のいなり

いも芋 万葉十六マンヤク家イヘ在物者モノ宇毛ウモ乃葉爾有之ハナラシ

いたき懐 神武天皇紀カムヤマト常懷憤懣トコニ皇后紀クハクニ懐ウツ幼主オホ從君ツク王ミコ

云々。西國の方言フキも子コとトとトとトと云トり古言コトを

いづる出 神代紀一書カムヤマト吹出氣噴フキイダシ之中ノナカ云々。とあると本文

吹フキ棄ウツル氣イ噴ブキ之ノ狹霧ササキとあり。出イダシと棄ウツルとハ義理コト異ヘなり

りりと。聞キゆり

いづあ何處 景行天皇紀キョウコウ欲與行ホシタマフ其何處ナニノトコロ

いつもり偽 允恭天皇紀インキョウ知虚言チウキョウ皆原繼體ミナトノリ天皇紀ミコト必是虚カナラシ

也ナラニ

いく生 景行天皇紀キョウコウ時人号其志トキノヒトナリ蓋處カサヘ曰浮羽イハヒ云々。是を

筑後國ツクゴ小コ河カりリとト傳ツタへヘるルあアるル。彼國カノクニあアるル蓋カサ

と浮羽と云りとぞ。和名抄筑後國郡名生葉と以
久波以の仮名ふよりて。論ふとありき。まべと
古書ハ。伊以の差別なきと。右ふ云るガ如しと
ある即。浮羽の轉訛あるに。生ハ阿行あり。去の生
葉の文字。甚紛らひきとあり。次の的條おくそ
しく辨べし

いさむる 諫

垂仁天皇紀ふ。有諫兄之情。天智天皇紀ふ。朴市田
來津。獨進而諫曰云々天武天皇紀ハハ。
下諫上暴と有り

夜行の以

いぢり 尿

諸字書ハ。尿字と以婆利と訓之。大同類聚方ハ。伊
波利阿南とありと。和名抄ハ。尿小便也。由波利

いめ 夢

とあり
常語ハ由米と云ま。夜行あると論あり。寢も同
仮名あり

いる 射

弓より出たる語あり。次ハ引く的と同音あり。さ
ま軍又平題箭の伊もあれど。神武天皇紀ハ。矢
瘡とあるも。平題箭より出たり。内藏寮式
ハ。矢四具とある下ハ。一具太角伊太豆伎。一具角
伊太豆伎とあり。後世の歌ハ身ハ勞ふと寄た
まど。勞ハ右ハ引りる如く。阿行の伊あるに。然云
掛まき理あり

以くた的

應神天皇紀の戶田宿祢と云ふ人名もあり。又仁德天皇紀の臣祖宿人宿祢射鐵的通焉。猶多うり。是と夜行の以あり。と云は證の。新撰字鏡の由久波とあり。和名抄の射塚と以久波止古路。世間云阿無豆知。今按又用堀字とあるが如く。以久波とも。由久波とも。通り云は以て夜行の仮名あると知べし。然ゆふ甚疑はく。惑ひゆをきたる。景行天皇十八年紀の八月到的邑而進食。是日膳夫等遺盞。故時人号其忘盞處。曰浮羽。今謂的者訛也。昔筑紫俗号盞曰浮羽。是と釋紀の

表

壹岐 国名

別々。筑後風土記の天皇勅曰惜哉朕之酒盞。俗語云酒盞為字。曰宇枳波夜郡。後人誤號生葉郡。とあると思ふ。全的と書りふ。生葉の借字あり。的の字ふを更ふ義をあらはし。生の阿行の伊あり。的ハ仮名の別あり。如此借用ひて書りるハ。いりある故と云ふ。書紀と撰述の時ハ。既に阿夜行と同音ふ混して。其差引ふり。ゆゑ。か。は誤り。のきあり。とや。和名抄の壹岐島由伎。万葉十五の由吉能安未能保都手乃字良敞乎云々。続千載集の壹岐と隱てゆきうらふ雲の道もなき物といりて。馬のまをゆるむ。人丸集猶雪とも書りは例。故

○音韻啟蒙上卷

以く 往

舉ふ 違あふ

以こ 忌

ゆくと通ふ。往を夜行ある事論あり。物語書
ふ大方を以くと書り候と。それのみ俗語と
おもゆるむを非之。太く以ぬふ。以よ〜等も。此
往と語の原も。同義ふの也。往の方中々古言
めく。ゆくの後ある也。

以か 床

是ハユふ通つり。内宮儀式帳ふ。忌歛と書りふと。
祝詞式ふハ。湯歛と書りり。其の外齋齋垣齋を
て同仮名之。曰中対お外齋入齋。其齋
和名抄ふ。讚岐國阿野郡郷名ふ。羽床と波以可と

以は け

注せり西國の方言おも床とイカと云り
ゆるうせとも云り

阿行の偈

うつく

愛

舊事紀ハ愛我那勢命。袂衣四ふ。もてかづり

いつりも給つ候。あゆまいつ〜う。めてとき
云々。是ハ愛と。かよるるゆえり阿行の偈あり

うと 魚

和名抄ハ。漁子と伊半止利と注せり

うが 薔薇

本草和名ハ。營實一名薔薇云々。宇波良乃美
とあふと常ふ也。イバラと云り

うむめ 鈿女

古語拾遺ハ。天鈿女命。古語天乃放須女云々

うむぎ

康頼本草。齊蒿菜。宇波支。とある。と本草和名。草蒿。於波岐。と注せり。同品あり。

うゑ 飢

出雲風土記。今者國引訖。詔而意。宇杜爾御杖衝。立而意。惠登詔。故云。意。宇。とある。ハ飢の古語。と

聞正しり

うむか

おむか。いと。同語。

うおく 動

重之集。おせいのき。足高。蜘蛛の手。ひとつおち。なる。二三日。き。おごく。と。は。う。ふ。乃。く。もの。を。と。て。の。お。ご。く。り。ぬ。風。と。い。の。ち。ふ。思。ふ。あ。る。登。し。下。卷。未。定。仮。名。の。條。併。せ。見。づ。い。と。

和行の宇

うさぎ 兔

万葉十四。小等夜。乃野爾。平佐藝。禰良波里。

うらら 木

蒼木。白木。と。も。り。ウケラ。と。云。り。長秋詠藻。色。小。

いで。え。人。の。袖。ゆ。を。露。う。う。体。君。ら。う。ら。う。の。蒼。や。

や。ら。ら。む。六。條。修。理。太。夫。集。小。む。は。し。の。う。け。

ら。う。む。の。い。川。と。れ。く。咲。乱。ま。と。る。戀。も。ま。と。る。う。か。

ま。と。猶。ま。う。ふ。と。和。名。抄。本。草。和。名。醫。心。方。等。小。朮。

と。乎。介。良。と。注。し。新。撰。字。鏡。康。頼。本。草。等。小。朮。白。朮。

と。よ。め。り

うそ 虚

万葉十四。小。於保。乎。曾。杼。里。能。麻。左。低。爾。毛。同。四。小。

うそ 類

乎曾呂登吾乎於毛保寒毳奥儀抄三小。或人云。心
むりーの國のものた。そそ言とバ。とそよと。い
ふあり云々

うあぐ 項

本草綱目小。水獺とも。水狗ともありと。カハウソ
と訓注と附し。常あり然云と。和名抄小。獺と乎
曾と注し。本草和名。醫心方等小。獺肝とよそり

うはく 現

易林本節用集小。項とあり
万葉十七小。伊麻乃乎都豆爾。可久之許曾。今の現

うやくし 恭

小如此よそこ
続紀廿四小。宇夜宇也。今從事波。とありて常小

うま

も然云ると。源氏藤裏葉小。猶かぎりある。みやく
いきと。つくと。とあり同言也。是ハ礼字と并ヤ。
とよそるが源あ。みやまふとも。礼儀とも云へ。
正しく真字よて書らる。続紀廿六小。天社國社
乃神等。毛為夜備。末都とあり
應神天皇紀小。阿餓許居呂辭。伊夜于古。瑪辭。或と
ある于古ハ。古事記中巻小。伊夜表許。邇斯。互伊麻
叙久夜斯岐。源氏紅葉賀小。ありふふいと。とこあ
るべし。と覺しやまふ。同蓬生小。人たが雇て
と。とこあむとの給等。同言あり

夜行の延

延ふ 擇

是を常語ふると云、

ひ延る

鳩鴿と。常ふひよ鳥と呼び。本草綱目の訓注も志

あり。是と和名抄ふ。鴨比衣土里と注し。本草和名

あら。鴨字とよ免り。夫木集廿七ふ。ふ比うちふ。海

だまをあまぬ。を延鳥を。心ふくても。毒と毒ふを

うか

延ふ 芳野

古を延之奴と。延ふ云、延と。ヨシノと轉たりふ

て。夜行の延あること。知るふ足まり。此外延の

山。又善事と延と。云はたぐひを。夜行あり。出雲風

延	延	延	延
延	延	延	延
延	延	延	延
延	延	延	延

土記方結郷條。吾敷坐地者。國形宜者。故云方結。又

老報卧かどの如。由小通。又燃愈榮あどの

如。由小通。悉く夜行の以延あり。阿行の

右小引り体。古仮名どもと。あまのをありとみらあむ。今頃

小思出たり限り。少う物一つ。凡此伊以偈宇衣延の。六

音小關係も。語々。語毎ふ。皆定まらば。假名有りて。彼を阿行

の偈あり。是ハ和行の字あり。ふど輕重と。きをやりふ。云ふら

書分べき理ありふ。古書ども。其證見延げと。今たやま

知とあまを。然もど下小引り。反切の語ども。皆阿行の伊

偈衣あきバ准へて知べし。かうく年治とちぬくも。此道と嗜こ。
 遠く言理と搜て。數千載埋來し。古仮名と杵ふ。顯しつゝと規
 則とて。餘も此例お倣ひ。おとくを。其假名と搜索え候か
 べき業あり。是亦道と古、おろ一也。一助ありむく。

○五十音之全圖

行左	行加	行安	第一位
左 サ サ	加 カ カ	安 ア ア	
之 シ	岐 キ キ	伊 イ イ	第二位
須 ス ス	久 ク ク	偈 ロ ロ	第三位
杵 セ セ	氣 ケ ケ	夜 エ エ	第四位
曾 ソ ソ	古 コ コ	於 オ オ	第五位

以上五音ハ反切音あて初言
 又夜和の二行と第五位の横
 音と杵も初言なきも別小圖
 小記せらる如し
 凡此安行如行等の件と呼ぶ

行和	行良	行夜	行万	行波	行奈	行他
和 ワ ワ	良 ラ ラ	夜 ヤ ヤ	万 マ マ	波 ハ ハ	奈 ナ ナ	他 タ タ
為 ヰ ヰ	利 リ リ	以 シ シ	美 ミ ミ	比 ヒ ヒ	尔 ニ ニ	知 チ チ
宇 ウ ウ	留 ル ル	由 ユ ユ	牟 ム ム	不 フ フ	奴 ヌ ヌ	都 ツ ツ
惠 ヱ ヱ	礼 レ レ	延 ヱ ヱ	米 メ メ	閉 ヘ ヘ	祢 ネ ネ	豆 テ テ
平 フ フ	呂 ロ ロ	與 ヨ ヨ	毛 モ モ	保 ホ ホ	乃 ノ ノ	止 ト ト

アヤワの三行と喉音サタラ
 ナ等と舌音カ行と牙音サ行
 と齒音ハマ行と唇音ホト
 稱するへ素悉曇家の私説小
 て我のやへ小聞ざりし稱
 あればすんでとらるぞ

此圖中記せる。片仮名のレ口又も。此音ふ當べき。文字ふき故。今新製出たるレも以の省文。口も偈の省文。又延の省文あり。レもレ古來相通りて。イも安夜行と兼ウもて安夜行と兼エも安夜行と兼用ひたりと。今俄ふ如斯物つると。好事の業と云む。平字音の上ふレ。此三音おれく別あると。甚々嚴密あり。其的證ども二三と擧て。觀覽ふ備ふべし。伊猗の類も。安行のイ。伊唐韻ふ於脂切。集韻ふ於夷切。正韻ふ於宜切とあり。猗も唐韻ふ於膏切。集韻韻會等ふ。於宜切とあり。ゆも以夷の類も。夜行のレあり。以正韻韻會等ふ。養里切。夷も唐韻ふ。以脂切。集韻韻會等ふ。延知切と

あり。又偈烏紆も。安行の口。偈ハ唐韻ふ。於武切。集韻韻會等も。委羽切。烏も唐韻ふ。哀都切。是ハ於歸ハ於於の音注。諸韻書に。烏も同とあり。古くハ安行のオも。口も。ゆもアも。用ひと。後誤て。和行のヲも轉りく。是も云べきとあり。と爰も畧紆ハ廣韻ふ。憶俱切とあり。又字羽の類も。和行のウも。字ハ唐韻ふ。王矩切。等韻も于矩切とあり。羽も廣韻集韻等ふ。王矩切とあり。又衣馬の類も。安行のエあり。衣ハ唐韻ふ。於希切。馬も廣韻ふ。於乾切。韻會も於虔切とあり。又延縁ハ夜行の及あり。延ハ唐韻ふ。以然切。集韻。正韻等も。夷然切とあり。縁も廣韻ふ。以絹切。韻會も余絹切とあり。然ハ漢土も古も後とも。韻の聲つるもあ

りて。甚終らへしきまうまど。古
代ハさふ誤ハ。必ふうりしや
。伊まても以まても。妨まもして。根ハ真假名ニ書まも
るむち。いまもき強事。古學セひ人。此辨へあま及ま
業くう。悉曇まても。伊イイイ。母音まて阿行ア。伊イと書る
とあまま記せらハ胎藏真言の書注イまれ。まうまど
と書イと書イ。初學イ便あイりれちなり。まうまど
と母字イとしてイ字と交り生出せるイ字ハ。即ち夜行の以こ
又イと母字イしてイ字と。交りま出せるイ字ハ。即ち和行の
字イ。又イと母字イしてイ字とまがりり生出せるイ字ハ。即
夜行の延イり。伊イと書るイと書るイ。字の形まても。別イ
て。各音の輕重あるまも。辨イべイ。伊イと書るイと書るイ。其イ

○反切音の事

反切と云ふまも。五十音の中。阿伊イ偈衣イ放イの。五音イ限イて。他イ音
等イも。切イと云ふまも。決イてまきまも。然イはイと古來イ。此格イと知イ人
あイく。まイりイ何イ々の反イハ。何イ小歸納イと。五十音中イと。右イ左イ
自在イ反イせイはイま。天然イの定格イと。知らイま強イとあり。其イ皇國
人の始イたる。所イ為イまあイまも。既イく漢土イハ。此イ僻事イハ始イまり。其
と魏イの秘書孫炎イと云イ。人イあイ。字イ毎イ反切イとイふイとイ。ユ夫
して作り出イりイき。其イ次イ論イふ。僻切イの權輿イも有イりイ彼
土人イも元來イ。音聲イの業イも。長イたりイ。聞イゆイまも。天然イの定格
も。甚イ疎漏イ國俗イゆイ。彼イ僻事イの反切イと。まよイまき物イもあイひ。

世々と經ても。此説行をきたり。是を字音と知はる。便あき
ど。天然の道理ふ叶をば。人作の私事こと云べし。抑反切
と云はるもの。誰反をもれく。自然ふ反物あり。吾皇國の言語
のみあり。悉曇蘭字ふ渉り。毛末の差あり。むとり漢字
あり。かゝる古傳の聞えば。理あり。それ傳らざらむ。
そやく失ひし。ふしそ有らぬ。此反切。阿伊偈衣於の。五音ふの
と限り。と云は。いふある由ぞと云ふ。此行を音質輕く。親
あるゆゑ。他音等慕ひ寄來て。相交り一音と生。其寄來る音
上ふ在り。是と父字と云。阿行の音下ふ在り。是と母字といふ。
相接る他音と生。はゆゑ。父母の名も有る。悉曇章ふ。三十六字

母音と稱る。阿伊偈衣於と。母字といふ。加左他奈波万夜良和の
九字と。父字といふ。此十四音接て。三十六音と生。はゆゑ。然
云。依るもべし。切音の理も。父母交通して。子と生ふ等し。古の
定格等も。悉曇章ふ依て。思ひ出さる。ふり。古來我古言ふ
契て。此一大義を。あきめ得たり。皇國音ハ。アイロエオの。五
音も。ふとく。父字と。出生音も。悉曇蘭字等の反切と。異ある
ナリ。あきど。彼も字も。吾ハ音も。凡音聲のく。り。き。皇國ふ
およぶ。其も次ふ引く。證どもと見て。其意と得べし。キアの
約。カ万葉二。彼依此依。靡相之同七。山川之瀧情乎。塞敢而
有鴨上ハ。靡きあひの約。下ハ。塞敢の約。クアの約。カ催馬樂
我門。和加名乎。之良万。久保之。加良波。万葉五。不可加良受。毛

可賀利毛神乃同六カガリモカミノ。不言卷毛湯湯敷有跡イハマクモユユシカラムト。源氏横笛ヒコシ。のりき
かカ。ありあるとばそり。外記日記の宣命ノリノミコト。東遊等乎トウユウナドナリ。調進利テウシンリ
給タラフ。倍ハヒ。加カ。利リ。コアの約カ臣ハ奴我の約コノカノカミハヌガノカミと云り。然も有アリ。り。れり。
遊仙窟ユウセンクツ。ヤツカリとよめる。轉マシ。ちるあるべし。シアの約サ
和名抄甲斐國山梨郡郷名同但馬國養父郡郷名ワナミ抄カミハヤチノクヤマナリノクサナリノクサナリノクサナリ。石木イシキ。と伊
佐波サハ。と注し。万葉二マンヤクニ。指舉有幡之靡者サシゲタルハタノナヒキハ。云々。同五ナラフ。奈良能美
夜故爾ヤコニ。咩メ。佐宜多麻波サダマハ。禰ニ。立依タチヨ。指舉サシゲ。而ニ。も有アリ。メ。サゲを召上メカガヒ
の約ノカミ。スアの約サ万葉二マンヤクニ。島御門者不荒有益乎シマノミカドハアラハレザラマシ。満ミ。夢爾谷不イメニタニ
見在物乎ミナモノナリ。まべてぎはと云語を。皆むあミ。の約ノカミ。ソアの約サ歌
詞カミ。は。り。り。る。とあるを。控有ミ。り。る。の約ノカミ。チアの約タ色葉字

類抄ルイショ。擣も擧も。モタグと注せり。持上モチノアゲ。の約あり。枕冊子マクローシ。二ニ。小。
火桶ヒバケ。のそり。足タラシ。とゆへ。もモ。とびて物モノ。ソソ。ふふ。すす。小云々。猶ナホ。又マタ。し。
顯宗天皇紀ケンソウテンノウキ。小手掌コテノソコ。櫻亮ウツラヒ。拍上賜ウチアゲタマフ。云々。と。叙紀コトワザ。小拍上賜者ウチアゲタマフモノ。飲酒
義也ヨシナリ。とあり。天智天皇紀テンチテンノウキ。小宴コウタビ。とウタウタ。ゲゲ。とよみ。景行天皇紀ケイコウテンノウキ
小々コトコト。ニヒムロウタニヒムロウタ。ゲゲ。とよめると思へオモヘ。む宴ハ拍上ウチアゲ。の約ノカミ。吾
字書ジショ。小。識チカシ。とウチアゲアソブウチアゲアソブ。とよみ。竹取物語タケノト。小。此コノ。かカ。どド。三ミ。日。
うちあげあそぶウチアゲアソブ。とあり。此外空穗物語コノトシノ。藤原君フジワラノキミ。榮花物語エハナノモノ。見ミ。え
てぬ夢等トノメナド。小見コミ。色イロ。とり。万葉十一マンヤクジウイチ。小。朽網山クシメヤマ。夕居雲ユフクモ。とあるを。
何地ナニノチ。あらむ知チカシ。難ナシ。りリ。きキ。と。クタミと訓ツケ。む外ソト。あり。然シカ。らラ。ババ。朽網クシメ。の
約ノカミ。之ノ。豊後風土記トウゴウフウツキ。小。此川之源出コノカハノノリノチ。直入郡朽網之峯ナホクシメノミネ。とあると。今

も國人をクタミと呼^レ王。姓氏録右京皇別下。真野臣下。大^ヤ網^ノ。誤と云^レ王^ノの爰の行^ク網^ノの例と思ひて。云出^ル。説^ハあ^ルめど。其もさ^レり^ラら^ハふ^テ納^ルの誤字^ニあ^リあ^リト。是ハ漢音^ノタ^フみ^テ。其^レグ^タミと^レ初^メり^ル也。和名抄^ニ越^ス中^ノ國^ニ射^ス水^ノ郡^ノ郷^ノ名^ニナ^リ。宇^ノ納^ルと^レあ^リと。宇^ノ奈^メと^レ注^セり。納^ルも^レ吳^ノ音^ニあ^リ。納^ルと^レ云^ハ。亦^ハ同^ノ也。是^レハ序^ニあ^リ云^ハ。ツ^アの約^ニタ^ノ内^ノ官^ノ年^ノ中^ノ行^ハ事^ヲ歌^フ。止^レ保^ト多^ク不^レ美^シ。美^シ奈^メ佐^ナ乃^ニ也^ト。万^ノ乃^ニ云^ハ々^ト。テ^アの約^ニタ^ノ曾^シ丹^ヲ集^メ。我^レ脊^ノ子^ガ。夏^ノの^タぐ^も見^セ也^ト。た^レら^ハ。ま^じら^ハ。き^かど^ふ。一^ニ夜^ノね^あま^し。万^ノ葉^一。ふ^ノ衣^乾有^レ天^ノ之^ノ香^來山^同二^ノ小^ノ君^之見^師髮^亂有^レ等^母同^五。小^ノ見^在知^在海^と伊^布許^等能^其等^老爾^互阿^留。枕^冊子^三。小^ノま^じら^ハ。ね^とら^ん。同^九。ふ^いさ^くら^もづ^らら^も。お^りひ^たら^も。源^氏梅^枝。ふ^あま^りそ^かきて^くせ^ぞそ^ひた^める^トア^の約^ニタ^ノ詩^衛風^ハ。瑟^兮個^兮赫^々

兮^喧兮^猶々^りり^皆と有^レの約^{アリ}あり^{ニア}の約^ナ万^葉一^ノ神^代從^如此^爾有^良之^同二^ノ小^ノ咲^而散^去添^花爾^有猿^尾同^三。打^背見^乃。此^之事^爾在^者云^々。ノ^アの約^ナ景^行天^皇紀^ハ不^面々^マナ^タリツ^カヘマ^ツラズと^訓り。目^之當^の約^ニ。物^語書^ハ。お^かと^ふら^と云^ハ。と^まば^く見^返ら^り。大^殿油^の約^ナ。紅^とクレ^ナ井^と訓^ふ。吳^藍の約^ニ。和^名抄^ハ。紅^と藍^と久^禮乃^阿井^と注^セる^本語^の儘^ニ。モ^アの約^マ古^今集^ハ。見^まき^見ず^後ま^じら^ハ。猶^々。空^穗物^語初^秋下^小。ま^じら^ハて^かと^はら^ある^人也^ト。い^さく^らよ^うま^じら^ハ。あ^らう^海也^ト。お^りひ^たら^もい^てら^まじ^らハ^{リア}の約^ラ和^名抄^ハ。伊^勢國^郡名^度會^と和^多良^比と^注セ^リ。是^レハ

度の延^ビちる^ルと思ひ^ハく^ド。會^カ字^シと書^カり^タり^アヒの
 約^キを^シと論^ズ。又讚^シ岐^ノ國^ノ香^ノ川^ノ、郡^ノ郷^ノ名^ノ成^ノ相^ノと奈^ノ良^ノ比^ノとよめ
 るも同^クカ^ノイ^ノの約^キ和^ノ名^ノ抄^ノ又^シ信^ノ濃^ノ國^ノ安^ノ曇^ノ郡^ノ郷^ノ名^ノ高^ノ家^ノ太^ノ木^ノ
 倍^ヘコ^ノイ^ノの約^キ常^ノ盤^ノハ常^ノ盤^ノの約^キありト^ノイ^ノの約^キ子^ノ万^ノ葉^ノ互^ノ布^ノ
 美^ノ奴^ノ伎^ノ提^ノ由^ノ夕^ノ智^ノ布^ノ比^ノ等^ノ波^ノ云^ク々^ノ踏^ノ抜^テ行^ク云^ク人^ノの^ナり^ニニ^ノイ^ノの
 約^キ二^ノ繼^ノ體^ノ天^ノ皇^ノ紀^ノ小^ノ柯^ノ羅^ノ屢^ノ你^ノ鳴^ノ以^ノ柯^ノ你^ノ輔^ノ居^ノ等^ノ所^ノ是^ノハ如^ノ何^ノ言^フ
 事^トを^シて言^フの略^シ又^シやあ^リむと^シ思^フひ^ハく^ド上^ノの^ト云^クと^キフ
 と約^キを^シる^ル又^シお^ハり^ハく^ド猶^ニイ^ノの約^キの^ナり^ニ有^リり^ハホ^ノイ^ノの約^キ
 七^ノ古^ノ事^ノ記^ノ中^ノ卷^ノ二^ノ伊^ノ勢^ノ能^ノ宇^ノ美^ノ能^ノ意^ノ斐^ノ志^ノ爾^ノ波^ノ比^ノ母^ノ登^ノ富^ノ呂^ノ布^ノ云^ク
 云^ク大^ノ石^ノ小^ノ蔓^ノ延^ノ廻^ノあり^ニ雄^ノ畧^ノ天^ノ皇^ノ紀^ノ小^ノ大^ノ磐^ノ宿^ノ禰^ノと云^クも^シゆ^メ
 〇^ノ

一^ノの約^キ二^ノ和^ノ名^ノ抄^ノ備^ノ後^ノ國^ノ郡^ノ名^ノ神^ノ石^ノ加^ノ女^ノ志^ノとあり^ニ女^ノ々^ノと^シ是^ノ
 元^ノカ^ノメ^ノイ^ノシ^ノと云^ク地名^ノあり^ニカ^ノミ^ノシ^ノと云^ク約^キ遠^ノ神^ノ石^ノと
 云^ク字^シと當^リる^ルあり^ニ天^ノ武^ノ天^ノ皇^ノ紀^ノ二^ノ備^ノ後^ノ國^ノ司^ノ獲^ノ白^ノ雉^ノ於^ノ龜
 石^ノ郡^ノとあ^リむ^ハなり^ニク^ノウ^ノの約^キク^ノ空^ノ穗^ノ物^ノ語^ノた^リ去^リる^ル中^ノ
 にか^キあ^キむ^ハき^ハむ^ハち^ハの^セゆ^リま^トひ^ハる^ルと^シめ^テ云^ク常^ノ又^シ
 も然^シ云^ク博^ノ打^ノの約^キあり^ニ新^ノ猿^ノ樂^ノ記^ノ小^ノ大^ノ君^ノ夫^ノ者^ノ高^ノ名^ノ博^ノ打^ノ也^ト
 とあ^リむ^ハなり^ニコ^ノウ^ノの約^キク^ノ古^ノ事^ノ記^ノ中^ノ卷^ノ二^ノ於^ノ吉^ノ野^ノ之^ノ白^ノ檮^ノ上^ノ作^リ
 横^ノ白^ノ而^ノ云^ク々^ノ加^ノ志^ノ能^ノ布^ノ邇^ノ余^ノ久^ノ須^ノ袁^ノ都^ノ久^ノ理^ノ云^ク々^ノ書^ノ紀^ノよ^ハ豫^ノ是^ノ
 よ^ハあ^リむ^ハの^ノ約^キ政^ノ事^ノ要^ノ畧^ノ廿^ノ七^ノハ^ノ國^ノ栖^ノ奏^ノ歌^ノ笛^ノ賀^ノ芝^ノ乃^ノ不^ノ尔^ノ
 與^ノ古^ノ羽^ノ須^ノ遠^ノ壽^ノ利^ノとあり^ニサ^ノウ^ノの約^キス^ノ丹^ノ後^ノ守^ノ為^ノ忠^ノ集^ノとあり^ニ

〇音韻啟蒙上卷
 〇十六

ハ。何ともあらず。綿つゝこの亀のまきふ。やくとふとも。是
を真占の約あり。塵漆堪囊抄八。龜ノ占ヲ。龜ノマスラ共ヨ
メリ。師時卿之歌。思兼子龜ノマスラニ。事問へハ。人相タリ
ト。聞ソウレシキ。おの真占のてマサデとも云り万葉十四
曾抄里能麻左低尔毛とある麻左低尔毛。由吉能安未
能保都手乃字良敷とある保都手とおかど是ハ筆の序小云
ふの。タウの約ツ高橋氏文。魚多追來云々。仍名曰頑魚此今
諺曰堅魚云々是又松魚の名義も明り之。此魚ハ尋常の餌
牛角と以て釣とぞ故カ万葉一。朝毛吉木人乏母。亦打山同
タクナある魚こと云り。子ウの約ツ万葉十三。展轉土打哭杼
三。亦打山暮越行而。子ウの約ツ万葉十八。可多於毛比遠字萬爾布都麻
母云々。トウの約ツ万葉十八。可多於毛比遠字萬爾布都麻

爾。於保世母天ハ馬小大馬小。ナウの約又新撰字鏡小。鑑カ
奴知とあり。金打の約之。鑑字ハ。字書小見。鑑師の二合
るべし。天武天皇紀小。中臣鍛師と云ふ人も有り。ニウの約又
万葉五小。久奴知許等其等美世摩斯母乃乎。同十八小。古思能
奈可久奴知許登其等云々。國內の約之。ノウの約又皇后紀小。
于池能阿層餓波邏濃知波云々。腹中の約之。顯宗天皇紀小。忍
海也。於尸農淤能。莒能拖寄紀。儼屢云々。ハウの約フ和名抄小。
河内加不知。知爾云々。河内の約あり。又近江。知加津阿不三。是
ハ淡海の約あり。天智天皇紀小。淡海國と書り。和名抄小。遠
江止保太阿不三とあり。此太を津の轉之。記傳小。阿字行と内

官年中行事歌小。止保多不美。美奈佐乃也。万乃志比加衣太平。
是ハツアの多小約。波宇の不小約。ホウの約。古事
記下卷小。意布表余志斯毘都久阿麻余云々。大魚よりの約。
和名抄小。讚岐國郡名。大内布知。播磨風土記。神埼郡大海里
ハ。オホミとよむべきと。明石郡邑美郷小。徴して。切義と得べ
マウの約。和名抄小。鞭無知。俗云無邊云々。所以箠馬驅遲。
とあり馬打の約。ヤウの約。古事記中卷小。驛使班于四方
云々。万葉十一小。驛路爾引舟渡直乘爾同十八小。波由麻久太
禮利佐刀毛等騰呂爾疾馬の約。ヨウの約。古事記廿八小。度
會郡乃等由氣乃。官云々。外官儀式帳小。我御饌都神等由氣大

神とあり。豊受の約。コラウの約。万葉七小。大舟乎荒海爾榜
出。同十九小。安流美尔伊多之とあり。荒海の約。ナエの約。子
日本紀私記小。昔称皇子為大兄。又称近臣為小兄也。宿祢之義。
取放少兄と有是約。ラエの約。和名抄小。王餘魚加良
衣比。俗云加礼比。キオの約。和名抄小。河内國郡名。錦部爾之
古里。新撰姓氏録。山城國諸蕃小。錦部村主錦織村主同祖とあ
りて文字の變の。何をも錦織の約。サオの約。朝臣と。ア
ソミとよまり。続紀三十二小。阿曾美為朝臣云々。如此類不必
從古とあり是々。アサオミと。阿曾美と約。ちるふらあり。朝
臣と書りる字の。アソミと約。ゆゑ小。やうて尸の阿曾美小。當

たろあるべしツオの約ワ和名抄小熟瓜保曾知或説極熟帶
 落之義也タオの約ト大神宮式小和妙衣者服部氏荒妙衣者
 麻績氏とあり和名抄小横津国島上郡郷名服部波止利是と
 機織の約めて彼らととりあやととりと云はも吳機織漢
 機織あり其を應神天皇十四年の紀小百濟王貢縫衣二人同
 三十七年紀小阿知使主都加使主云々得通吳吳王於是與工
 女兄媛弟媛吳織穴織四婦女の轉とあるぞ世小云子吳を
 とり漢をとりの始めらありらる夫木集北三小人の國小お
 るてふをととりつをへきてあやいやいりふあめもき
 とあるを右の故事とよめり奥儀抄小此あやをととりと綾の
名と記せらるへ精うらむを神中抄

小ハ綾の服と見たるも誤あり爰ハアヤとあるを漢字の唐
音の轉あるを国典字徴彼処小委注せり姓氏録小葦屋漢人
高安漢人などあるを西土の人の末あり播磨凡土記小漢部とありハ漢人の部と
 七小奈加等美乃敷刀能里其等とあるを江次第六小到中臣
 後八張取割之處とあり中臣めて中臣の約と臣字小トミ成
てふ訓あり
 勢天皇紀小影面背面とありら影津面背津面の約をふ之和
 名抄淡路國三原郡の郷名倭文と之止里とよも神代紀の訓
 注小倭文神此云斯圖梨俄未とありら倭文織の注シ
オリあり
 天武天皇紀の訓注小倭文此云之頭於利とあるが如く去の
 倭文と云は物を絹ありむ布ありむ知里がとく臨時祭式小
 倭文二端長各一丈四尺
廣二尺二寸齋宮式小倭文二足常
陸とあり武烈

天皇紀ふ。之都波拖。万葉十九ふ。倭文幣。ちど猶尋り。はて倭
文と織と。シドリと云ひ。織あげたる。倭文服と云ひ。未糸ふ
して巻たる。倭文手巻とも。倭文小手巻とも。云々。あち
も。和訓某ふ。沈の義と云。或説ふ班布と云。色ど。扱と表らむ。布
こと云ふ。い。や。き。小冠らせ。と。賤者の服と。云。義
みや。さ。と。是。下。人。男。の。卑。と。云。と。好。不。倭。文。と。下。人。ふ。お
も。を。せ。て。然。て。い。や。し。と。も。続。り。と。る。ふ。め。り。布。あ。ぬ。證。の。雄
略。天。皇。紀。ふ。扱。磨。磨。扱。能。阿。娑。羅。你。陀。同。施。都。磨。扱。能。阿。娑。羅
你。陀。同。云。々。是。を。玉。卷。の。胡。床。の。對。て。倭。文。卷。と。あ。さ。ば。必。善
絹。ふ。去。そ。有。り。め。殊。ふ。天。皇。の。御。座。の。胡。床。の。餉。ふ。さ。ば。又。武
烈。天。皇。紀。ふ。於。寢。扱。能。弥。於。寐。能。之。都。波。拖。夢。須。寐。陀。梨。と。も
あり。質。朴。あり。上。世。と。云。と。御。帶。ふ。布。さ。さ。ば。倭。文。と。も。一。種
ふ。ど。と。結。ひ。た。ま。ふ。と。く。あ。ん
の。絹。み。皇。國。み。て。殊。ふ。美。麗。産。あり。ゆ。急。倭。文。ふ。ど。の。文。字
と。配。だ。る。あ。る。べ。又。和。名。抄。ふ。鎌。と。加。止。利。と。注。せ。り。新。予

載集ふ。立あふる。かどりのきぬの。白うね。かさねても猶。う
を。紙。袖。う。か。と。あ。る。と。思。ふ。ふ。カ。ツ。と。云。物。あ。く。織。た。る。布。み。て。
其。質。を。甚。白。き。物。ふ。こ。そ。有。り。り。め。さ。さ。ば。加。止。利。を。カ。ツ。あ。り
の。約。あり。今。按。ふ。世。ふ。紙。布。と。云。ふ。物。あり。穀。の。皮。と。製。して。織
あ。く。り。色。甚。白。上。世。白。栲。の。衣。と。ひ。ひ。の。必。此。紙。布。あ。り
り。む。万。葉。十。四。ふ。阿。之。賀。利。乃。和。平。可。難。夜。麻。能。可。頭。乃。木。能。と
あ。る。を。決。く。穀。の。木。あ。る。べ。さ。さ。ば。穀。を。加。豆。と。云。ぞ。古。言。ふ
て。其。皮。も。て。織。た。る。あ。さ。ば。濁。音。ふ。カ。ド。リ。と。よ。い。べ。ト。オ。の
約。ト。世。ふ。ふ。と。り。の。絹。と。云。物。あり。太。き。糸。り。て。織。あ。せ。り。さ。さ
ハ。フ。ト。り。を。ふ。と。あ。り。の。約。く。オ。の。約。ノ。瀬。之。音。と。セ。ノ。ト。と

云りホオの約ホ圓大臣と古事記下卷ふ都夫良意富美とあり
マオの約モ万葉二ふ行宮爾安母理座而同北ふ多可知保
乃多氣爾阿毛理之あと天下の約こ此アモリと詞の八千侯
ラオの約口新撰字鏡ふ鞆波呂比と注せり腹帯の約あり
左右馬式ふ腹帶料七尺馬并舎人各机二枚ふとありヲオの
約ヲ古事記上卷ふ那遠岐互遠波那志云々汝と置て夫のふ
あり
如此抄出たるふ阿伊偃衣於の五音の父字とありて同音ふ
て約たる例なきい言語の終ふアイウエオの音どものなき
ゆゑ又和行の五音あも反切の少きい是も語の末ふ此音

どもと踏めふ語の少きゆゑ又第四位々セテ子へメ反レ
エの中反切の少き元より云起したる語の少きゆゑとある
小玉あふきみ餘詞も安伊偃衣の四言ふ限きりと云て衣と
略りるいいもどき失考は是ハ語の少して例と求めえざる
ふおそあきいうて衣音の欠はゆのあふび然と近年或人詞
の小手巻と云書と作出て彼玉霰と諾ひ種々の説とあはと
まど皆論ふくぬひぐるのまゆ抑反切といふふその阿行
の五音と除て必切るべき理なきとい独り皇國言語の上ふ
云まるとふらゆも素より天然の神製あのみ日神の御光
の至らむ極え何きの國ことも此格ふ洩るるといゆと其ハ

彼梵字と云るもの内へ起所此格本づり。是亦人作お
 らねど。胡文ことて誹べり。其字母と云ふま見る。凡
 して三三三。即安伊偃衣於て。此五字各長短の聲との
 一。點と加て。十二字。又第一位。加左多奈波万耶良
 和と。父字とて。瓦凡凡凡凡凡。此九字も。輕重
 清濁等ありて。三十五おわり。今其短聲の限と。抽出
 つ。是と合て。四十七言と云。扱上の五字と母字と。次の
 九字と父字と。合て十四音。父母の名と有あり。凡五十音
 の中。此十四音と除去。残る音等と。三十六母字との稱せり。
 其の字母の中。いと母とて下おき。瓦と父とて上お安。

き切まど。出生音を即(即)字あり又(又)と母と。不(不)と父とて
 切れど。又とあり。コ(コ)と母と。レ(レ)と父とて切まど。とあり。
 三(三)と母と。凡(凡)と父とて切まど。凡(凡)とある。此他三十二音も
 是(是)お准。如斯切め雙(雙)ぶまど。おのく。父母の形と帶り。奇く
 と云べし。委(委)ハ委曇初心抄。悉曇三密抄等と對見よ。是(是)阿行と
 措て。反例ありと云ふ。予(予)グ憶斷の強(強)ざる。と了解まべし。又
 西洋めて用る。アベセレテルと云るものも。人作の物おあり
 也。纔(纔)二十六字のうち。父母何りて。足らざる。歸納音おて補
 へり。悉曇章お異あり。此二十六字の中。あ(あ)い(い)う(う)え(え)お(お)と母
 字と。是(是)即安伊偃衣於の五音あり。

○音韻殿蒙上卷

○五

此の中は偃衣當き
 と。此の聲は
 呼とさるる

真の音質とありけり。凡外國にてハ倭と由の常ハ混まざる例あり。此外加行ハカ字あり左
 行ハク字あり他行ハク字あり奈行ハル字あり波行ハフ字
 行ハヘ字あり以下行毎ハ母字ハ對たる父字あり故關音と求めむ
 とクハ母とクハ父とクハ切とクハカと母とクハコと母とクハ
 ケハ父とクハ切とケハカと母とクハケハ父とクハ切
 ともカと生也他ハ是ハ不准トて知べし又朝鮮國ハ諺文ト云
 一種の古文ハ行ハ字母二十七字の中安伊倭衣旅トト一丁
 十ハハ作り去の外ハキニナリハシハハ等の數字あり即父字ハ此
 トハ母とクハクハ父とクハ切とバカト生ト上ト母とクハ
 ハハ父とクハ切とバハト生也餘ハ訓蒙字會類合等ハより

使用と辨ふ。彼書の對注甚紛々なり。能々心して
 聲通用あり。初聲獨用あり。中聲獨用あり。終二十七字ハ初聲終
 万言ハ涉とリ。活用と出の異ハまじりも。歸納の理ハハ
 たり。我皇語ハけり。梵字洋字。いづれも。阿行の母字ハ本づ
 此諺文歸納。五十字と抜出。是ハ我神代の文字ト云ハ説
 其非と論む。人の勞と拵ハ似たり。敢テ當否と論せ。若
 牙ハおも。訓蒙字會と對見よ。問上ハ云ハるより。安行
 の母字ハ依らざれば。約例ありと云。確證也。他ハ徵テ論たり
 初篇ハ云ハる如く。漢國ハても。既ハ反切とハみあり。素より
 人作の秘ハ右ハ云ハる。天製トハ別物也。たハ。玳ハ前
 切。疎ハ落哀切。山旅切。ふどヤウの切音もあまど。其ハ思ひよ
 らざ。聞合ハヤそあ。惣テの反切也。譬ハ仁ハ如鄰切。義直寄
 切。とヤウハ。天然志。るハ大方の人。切語ハ。正ハき
 の本切と失ヘリ。定格ハ行ハと知らで。何々の反ハ。何ハ約ト。五十音中ト。縦横自

在おつゞむるも。天然の理お背けける強ツ事シ。實の反切も。私お
反ささむとも。皆阿伊偈衣放の。五音おのも反て。他音お反たる
例おきとや。然シと漢字三音考お。是と仮名お一と稱して。去
よおき物お愛ああるも。いもどきむらるも。平イその誤と約て。
作お出とる説どもの。誤もる證と引出べ。
或人の説お。布フ久グ思シと。ある串の約ツと云り。是と堀串ホリグシの約と。
ても。串シとあるゆえ強シてある串と云ふ。あおむつ。
いうお求めん説あれをとて。用言より。ある串といひてよか
らむやら。
或人の説お。むとりおちと。ひとりおとの約とと云り。源氏

早あ蔵お。一とむとりおとて。同東屋お。御らちつ。
おて給つ。狭衣下。おん。ろうの中と。ひとりおとを給ひ
つ。又。中三。おんの御かとも。忍ひやりおても。阿りおん
と。むとりおとを給一。宇治拾遺一。横座の鬼盃と左の手
ふりちて。あとまたるけ。此世の人のおと。拾玉集お。
うき身お。あとゆとどおも。えいそをせる。思ひあはるも。むと
わおとをて。猶ようととを畧つ。是ら何の約とあらむ
或人の説お。潮シ左サ為し。潮シ騷シの約とと云り。此説およう。潮さ
とぐ。潮さわら。シホサウ。あらシホサエと約ら。
或人の説お。宇ウ既ケ具グ都ツ。穿ウたま皆の約とと云り。是は穿字お

ウゲの訓あるると。知らざはゆゑか。ふ説を出来し之穿と
よみし證々。史記倭幸傳小見其衣裝帶後穿云々。其衣後穿白
氏文集三小眼穿不見蓬萊島同四小官牛領穿亦無妨同九二
小果穿聞鳥啄萍破見魚遊遊仙窟小懸望眼應穿浦と莫惜馬
蹄穿色兼字類抄小寔字とハナウゲルと注せり。鼻穿の俗轉
く倭姬世記小從其河天志御船後立支。于時驛使等御船宇久留
止支白其處乎宇久留止號支云々。猶よりと。枚挙小暇あり
也。此穿字とウゲともウグルとも。訓より知らざるをくり無
理ある反切と。設むともありぬべし。和名抄小盲と米之比。
或人の説小死ミルを過去スキスルの約ありと云り。和名抄小盲と米之比。

清盲と阿岐之比。聾と美々之比。とよも又皮りりて。實なき穀
と。之比奈世と云り。神代紀小火の消はと。衰とよも。万葉小物
の勢ひなきと。思奴爾とも。之賣良爾とも。上ノ云々
を。死シと同義同語あると。過去スキスルの約とて。聞ミ物モノの
或人の説小佐和久兒等遠宇都互波ハを打捨ウチスてハの約あり
と云り。是を打棄ウチウテテの約リ小こそあは。棄ウテとウテとよも。神
代紀小吹棄フキウツルと。浮ウ根ネ于都屢ツルと注し。古事記上卷小幣都那美曾
邇ニ奴岐ス宇ウ且テと有。背セ小脱棄メキウツテあり。猶高光集。古今著聞集。源平盛
衰記等小。例おほり。うゝと無理ある反切と。作設ウツはふお
よむ也。此外猶引出べきも多りと。くゞくゞりバ打お

きつ。如此人の説と辨駁せむら。わーくは業あると。定格のこ
物してを。曉えうきもわらむ。是非の分と示さむ。故
ふ誤とも引出つ。是を初學と捷導せむため。抑反切と設て
名義と解へ。今時の學僻あり。其誤をあびた。一きも。實を反
例とあらざはゆき。假令縣鈴二大翁なきと。此格と知
らむして。いうてうふり。き説のいで來べき。然と大方の學
者たらう。あきどく。其非と受つづ。炬ふとて。道引を
一ゆえあり。うー

音韻と云、事

音とい字の古衛と云、韻とい字音の響と云、たとへば東韻の

所屬。通蓬等のウと韻。咍韻の所屬。胎開等のレと韻。魂韻
の所屬。村門等のヌとひびき。談韻の所屬。藍甘等のムとひび
き。合韻の所屬。巾答等のフとひびき。薛韻の所屬。折別等のツ
とひびき。麥韻の所屬。策隔等のクと韻。りる類と。韻とい云
なり。去うきども。皇國といて。韻とい名のをりて。音韻とも
ふ。古衛は呼ともなり。故、按、西土は生まらるる人の。字音のそあ
らむ。言語まで。單直の音は。呼ともあらむ。おれづく。餘
音ありと云へり。餘音即韻なきは。是と勻と云へり。其韻と云へる
もの。皇國の人より。真似ふとあらむ。筆も移取ると叶む。
う、まば上代彼國人の。唱うる音韻と。吾國固有の雅音は呼

替て讀とりし社有りぬ。是ハ大方の音趣オモユキと以て云ふ。さ
 まハ音韻とも。大方ハ吾皇國の物なり。此音韻世と経るふま
 とづひ。おのづから古と異なるも多かり。殊ハ古代の韻々。相
 通の音中と活用せし。其證ども下ふ云、べし。かくて後世ウ
 と云ふ韻ども。古代ハ加行の濁音をりりむ。故今然セ字音ど
 もと。仮ハ古音と名付。又世ハ呼ヒ馴ルる音どもと。姑ナ新音と名
 づり。新古の分ナとあはれめじとも。加行の濁韻とい。通ツ勇イ宗シ鐘シ
 雙カ香グ養マ望マ相タ宕タ上タ囊ナ當タ良ラ登ト綾ラ寺ラ興カ高カ英カ寺カといふ是ハ韻鏡第
 一轉より三轉ハ至り。元五轉より。元六轉ハ至り。元一轉より。
 元六轉ハ至り。四十二轉より。四十三轉ハ至り。元一轉より諸

字ドモ等ク然レ也カ。然レハ五轉六轉ハ。常々ウの韻をきと。朝鮮語文ハてハ
 同例の韻ハ用ひ來り。故ハ爰ハ次第より。又卅五轉六轉ハ
 常々イトウトウト。今是ハ去クハ。通ツハグの韻ありといハ新撰姓
 氏録左京諸蕃上ハ。太秦タマヤ公宿祢タマヤ秦始皇帝キョウ田タ三世孫孝武王之
 後也。男功滿王云々。男融ユツギ通王トウ。融ユツギ通王トウといふ
 べきと論を。應神天皇紀オウ也。然見とより。但融通ハユツギ
 ツキト。よヒ一キ例をきハ。猶不審ふきハ。あハねと上代ハも
 清濁と互ハ。呼ヒ連レハ。ちキハ。いハハ。神代記ハ喪屋と
 切キ伏フハ。劔名と。大葉オホハ列レと云ハ。古事
 記ハ。大量オホリキハ。作スと。ハ。不類猶あり。○勇ハ和名抄ハ越後
 國蒲原郡郷名。勇禮ユウレ以久礼と有り。○宗ハ和名抄ハ土佐國長
 岡郡郷名。宗部ソノベ曾加倍と有り。○鐘ネ万葉ハ待時マチトキ而落鐘禮能

雨令零収云々。又黃鐘調也。源氏橋姫也。ワう去きてう也。あ
へてと有り。○雙ハ万葉十六也。三四佐陪有雙六乃佐敷和名
抄也。雙六子。一名六菜。俗云須久呂久。○香ハ和名抄也。備前國
和氣郡鄉名。香止加々止。同阿波國阿波郡鄉名。香美加々美。同
河内國茨田郡鄉名。伊香以加々。同近江國郡名。伊香伊加古。同
播磨國揖保郡鄉名。香山加古也。萬。○養ハ四時祭式上也。都那
養布等山口云々。神名式也。大和國添上郡。夜支布山口神社と
あり是也。和名抄安藝國加茂郡。鄉名養訓也。也。萬久爾。○望播
磨風土記也。望理里也。マカリの里とよめり。○相ハ和名抄也。
相模佐加三。同山城國郡名。相樂佐加良加。○宕ハ和名抄也。山

城國郡名。愛宕於多岐同伊勢國壹志郡鄉名。宕野多木乃。○上
ハ欽明天皇紀也。上佐平沙宅已婁中云々。旁注ハ音束とあり
ハ。後人の加筆也。ソグと濁音ハ勸く對字とあり。ざり一世の
所為也。きハソグとあり。○囊ハ和名抄也。播磨國郡名。美囊美
奈木。○當ハ万葉六也。痛何怜布當乃原。同十也。瀬乎速見落當
知足云々。履中天皇紀也。宜廻自當摩徑踰云々。歌之曰云々。哆
駄珥破能邏彌哆嗜摩知鳥能流。和名抄也。大和國葛下郡鄉名。
當麻多以末とあり。以ハギの轉あり。○良ハ和名抄也。武藏國
郡名。久良久良岐。新撰姓氏錄。右京皇別下也。新羅と新良國と
書り。按ハ新羅又鷄林とあり。○登ハ和名抄也。土佐國長岡

郡郷名。登利鳥加利。○綾の和名抄。相模國郡名。餘綾與呂岐
 ○英の新撰姓氏録。左京皇別下。英多真人。和名抄。伊勢國安
 濃郡。飯高郡郷名。英太並。阿加多と注せり。○高の万葉一。高
 山波雲根火雄男志等云々。○興の神代紀。小興台産靈。此云許
 語等武須毗。以上加行の濁音。活用。韻。韻。猶多
 けきど畧。つ。但クと清て響。り。入聲。て。右。引。り。と。ハ
 別あり。件。の。諸。字。の。中。ハ。清。て。よ。む。べ。い。と。お。ち。り
 き。も。あ。ま。ど。も。べ。新。韻。小。鼻。あ。り。て。ン。と。撥。不。韻。あり。此。ン。の
 て。濁。ま。り。例。を。り。中。ハ。又。と。韻。あり。ム。と。韻。あり。又。ハ。韻。り。る。ハ。珍。敏。民。因。印。引。岷
 盆。破。軍。雲。粉。錢。遠。彈。于。難。樂。苑。牽。安。段。早。負。萬。交。漢。讚。信。訓。散。以
 上。又。の。韻。て。奈。行。ハ。活。用。一。又。良。行。ハ。も。轉。不。引。り。る。あり

漢吳音圖。ハ。珍。字。も。チ。ス。ハ。漢。音。チ。ニ。ハ。吳。音。と。定。り。ハ。誤。ハ
 二。ハ。又。の。轉。り。故。ハ。チ。ハ。ノ。ハ。轉。也。次。ハ。引。ハ。山。の。韻。ハ
 こ。と。ひ。り。ハ。ガ。女。り。と。彼。圖。説。ハ。よ。ハ。心。字。ハ。漢。音。シ。ハ
 吳。音。シ。ハ。と。ガ。を。圖。も。べ。き。理。ハ。る。ハ。漢。吳。と。ハ。韻。ハ。ム。と。定。り。九
 り。杜。撰。と。云。べ。い。さ。ま。べ。愛。ハ。引。り。る。諸。字。是。ハ。韻。鏡。十。七。轉。よ
 も。又。ハ。本。韻。之。古。韻。ハ。ン。ハ。俗。韻。之。新。韻。ハ。是。ハ。韻。鏡。十。七。轉。よ
 り。ハ。四。轉。ま。で。ハ。収。ま。る。諸。字。て。上。代。ハ。ン。と。撥。て。よ。み。と
 ハ。例。を。り。○珍の万葉十一。ハ。珍海濱邊。小松云々。○敏の万葉
 三。ハ。島傳敏馬乃崎乎。○民の和名抄。ハ。伊勢國壹志郡郷名。民
 大。三。乃。多。○因の和名抄。ハ。因幡。以奈八。○印の和名抄。ハ。播磨
 國郡名。印南。伊奈美。印南の中畧。ハ。も。べ。て。同。音。の。重。ま。り。と。一
 名。稻。直。と。伊。奈。保。と。よ。ハ。上。総。國。郡。名。長。柄。ハ。奈。加。良。と。よ。ハ。播
 磨。國。錫。磨。郡。郷。名。穴。無。と。安。奈。之。と。よ。ハ。推。古。天。皇。紀。ハ。旅。人。と
 多。比。等。と。よ。ハ。古。事。記。ハ。小。高。在。と。云。ハ。古。事。記。ハ。御。真。木。入。日
 古。陀。加。流。と。よ。ハ。古。事。記。ハ。如。ハ。猶。例。多。ハ。古。事。記。ハ。御。真。木。入。日

子印惠命○引ハ和名抄小遠江國郡名。引佐伊奈佐○岷ハ雄
畧天皇紀小告其弟軍居岷也云々今コトハ誤○盆々蜻蛉日
記小。七月十日ありあまは。よの人さまぐ海小。ほふの古と
年頃云々○礮ハ神代紀小。礮取盧嶋○軍ハ岷字の下の云
り○雲ハ万葉七小。雲飛山仁吾印結和名抄小大和國高市郡
郷名。雲榭宇奈天○粉々万葉六小。住吉能岸乃黄土粉云々。康
頼本草小。粉錫。已布尔。胡粉也○錢ハ和名抄小。鏝。世迹都良。又
紙錢。加美勢途○遠ハ和名抄小。若狭國。郡名遠敷。平尔不○彈
ハ万葉十二小。今夕彈速初夜徒○于ハ万葉十二小。海部之楨
音湯鞞于○難ハ万葉十三小。吾哉難二加還而將成○藥ハ和

名抄小。木藥子。無久礼迹之乃木○菟ハ和名抄小。紫菟之乎迹。
古今集小。隱ト。來ト。白ト。ひト。ぞト。うト。つト。ろト。ひト。みト。りト。糸ト○牽ハ古今
集物名小。牽牛打ト。りト。あト。いト。もト。也。花の色ト。とみむ○安ハ播磨
風土記小。安師里云々。故号穴師○漢ハ万葉十一小。中之似兒
草爾故余漢○段ハ日本紀竟宴哥小。段楊爾也。哆珥也。字珥云
云○旱ハ万葉十三小。草社者取而飼旱○負ハ和名抄小。伊勢
國。郡名。負辨為奈倍○萬ハ万葉十三小。遣之萬萬○菱ハ神代
紀小。素菱鳴尊○讚ハ和名抄小。讚岐佐奴岐○信ハ和名抄小。
信濃之奈乃。上野國利根郡。郷名男信奈萬之奈陸真國。郡名。信
夫。志乃不○訓ハ和名抄小。山城國。郡名。乙訓。於止久迹○散ハ

万葉十一小散頰相。同十六小散追良布。とあり以上奈行小を
ひり多韻ども不て。うは例猶まうきど。くた〜〜り丸ハ
略一つ。此韻より良行も轉響りりと云るハ群訓雲篇播散
讚信駿敦薦等之。爰小いさ〜う。其例と引出べし。群ハ和名抄
小大和國郡名。平群倍久里安房國郡名同。○訓ハ和名抄小安藝國高
宮郡郷名。訓覓久留倍木。○雲ハ播磨風土記小雲箇里云々。其
形美麗故目字留加。○篇ハ万葉十一小愛等思篇來師。○播ハ
和名抄小播磨波里萬按小播字ハ集韻小孚表切音翻とある
外ハ韻鏡二十八轉過字の所屬不。破と同韻小収め且諸韻書
小補過切〜て波音を〜と皇圖上代より番音と相通〜用來

もる故不爰不波里の轉韻もあり。常不播州とも呼を〜ひて。
播州と云古韻の皇圖不存〜と見へし。○散ハ三代實
錄ハ散樂透撞兎擲弄玉之戲。同七ハ新伎散樂競盡其能神
樂歌取物式ハ下篇之中於散樂堪能之者云々。春記長曆三年
十一月條ハ誠如散樂太以見苦云々。中右記天永二年二月條
ハ舞人以下七八人陪從中有散樂興云々。以上サル樂〜よむ
也。是ハ日本紀畧禁秘抄東鑑等小猿樂不作り。空穗物語宇
治拾遺十訓抄等小さ〜〜と仮名不書き。源氏蜻蛉日記枕
冊子等もさ〜〜と記せり。同物之。○讚ハ和名抄小河内
國郡名讚良佐良々。○信ハ万葉七小八信井上爾事上不為友

○駿ハ和名抄小。駿河須流加。○敦ハ和名抄小。越前國郡名。敦賀都留我。○薦ハ惣國風土記小。駿河薦河と書リ猶又ウモト略ス。又此韵よりウハ轉ル有リ。ムハ轉ル有リ。ウハ轉ル有リ。和名抄小。淡路國津名郡郷名小。郡家久宇布。此類多ウリ。轉韵の條ハ云ベシ。ムハ轉ル有リ。日本靈異記ハ浪と世弥と注シ。和名抄小。寒蛸と加無世美と注セリ。是等の轉も。是彼見正ナキト。例ハ違ハズバ誤リナキ

新韻ハ鼻ハカフテ。ンと撥依韵今一有リ。古韵ハムハマテ。麻行ハシヨリ。其ハ心深今陰金屬甚品南耳男會曇參絨監衫草。驪棋奄點險店兼覽廉盪菴三敢等の諸字也。古ハ韻鏡三十

ハ轉より。四十轉多クハ収リ。万行の外。シヨリ。ウモト。例ハシヨリ。長行ハ轉ル有リ。大畧奈行韵ハカレド。○心ハ和名抄小。燈心度宇之美。○深ハ和名抄小。播磨國美囊郡郷名。志深之々美。○今ハ万葉十二小。過西戀也。亂今可聞。○陰ハ和名抄小。陰陽寮と。於午夜宇乃豆加佐。○金ハ万葉十三小。痛之戀者。今還金。○瀧ハ和名抄小。上總國郡名。夷瀧伊志美。○甚ハ國造本紀小。伊甚國造とあるハ上ハ引ル。夷瀧郡也。○品ハ古事記小。品陀和氣命。書紀ハ和名抄小。備後國郡名。品治保牟治。○南ハ万葉六小。隱耳哉戀度南。同十小。秋風之吹南時爾。○耳ハ和名抄小。上野國郡名。耳樂加牟良。○男ハ和名抄小。上

野國利根郡郷名也。男信奈萬之奈。○舍ハ和名抄不。但馬國郡名。美舍美具美。○曇ハ和名抄不。信濃國郡名。安曇阿都三。○三ノ字。之ハ誤。神名式不。出雲國秋鹿郡。惠曇神社。風土記不。惠伴不。作。○參ハ和名抄不。上野國吾妻郡。伊參伊佐萬。○絨ハ万葉。四不。赤駒之越馬柵乃絨結師。○監ハ万葉九不。足速之水門爾。極爾監鴨。○衫ハ和名抄不。夏則汗衫一領云々。後拾遺集不。五。節のささるハ乃かささか。つきののささる云々。夫木集十八。不。諸人のあそぶある哉。さとの子。かゆみの裾の。あがき夜。とぐ。源氏葵ふ。くろきかさ。くろきさう色のはうぬもど云々。以上汗衫の字音。○醇ハ和名抄不。醇酒多無佐介。○釐ハ

豊後風土記不。直入郡球單郷在郡北と朽網と。書き景行天皇紀よへ。來田見不。作ま。神名式不。出雲國楯縫郡。玖潭神社。○柑ハ拾遺集物名不。花柑子と隠して。五月雨不。ちるぬかき。り。郭公。何りをま。む。まのぶ。う。り。○奄ハ和名抄不。伊勢國郡名。奄藝阿武義。○點ハ万葉十一不。所照月夜通人見點。鴨。○險ハ万葉九不。爾保比去名妹觸險。○店ハ新撰万葉不。調。店鳴蟬之音。○兼ハ万葉九不。古之賢人之遊兼。○覽ハ万葉。十不。風爾加妹之梅乃散覽。○廉ハ万葉十一不。子松末有廉叙。波。○盪ハ万葉九不。幾世左右二箇年薄經盪。○菴ハ日本靈異記不。十市郡菴知村云々。阿牟知能古牟智能云々。○三ハ万葉

十小。長春日乎戀八九良三。和名抄小。三衣画佐無江乃波古○
敢ハ万葉五小。可久夜歎敢世牟周弊遠無美以上万行小。印
りる。韻どもして。猶多りきど略つ。古の韻等より良行小の
りる。岩敢尖の類なり。○岩ハ新撰万葉小。山郭公浮岩手者
鳴。岩ハ巖の畧字あり。浮岩ハ。ウカケレのカと略り。○敢ハ新
撰樂記小。拍子男之氣色事敢云々。○尖ハ惣國風土記小。敢河
尖峨と書り。是ハ常小セムノ音なり。爰小尖とあるも。ス
ムと云古音より轉たる。又按小尖キと云。子訓と。取合セたる
ハ猶考べり。

新韻小。クキ小。印キ。古韻ハ。清音の加行小。通てワタり
り。新韻ハ。平上去の聲コト。濁ワり。加行小。響キ。り。と。混マべ。ら
て。加行の清音コト。其ハ筑覺託力樂各德博作積益直飭色伯等の字
音小。響キ。と。也。其ハ筑覺託力樂各德博作積益直飭色伯等の字
りて。韻鏡第一轉より。第三轉小至り。同三十一轉より。三十六
轉まで小収まり。是ら入聲の字等コト。今と異マはと見よ。○
筑ハ和名抄小。常陸國郡名。筑波。豆久波同武藏國郡名。都筑。豆
豆岐。淡路國津名郡。郷名小。志筑キ。之都奈キ。と。○覺ハ和名抄小。
武藏國荏原郡。郷名。覺志。加々志。○託。神名帳頭註小。攝津國東
生郡。阿邊速雄神社。味キ。報キ。託キ。彦根命。○力ハ和名抄小。甲斐國巨
麻郡郷名。等力止々呂木。○樂ハ和名抄小。山城國郡名。相樂。佐
加良加同上野國郡名。邑樂。於波良岐江次第五小。御飯堅樂。仁

給へ同十不御飯加太良加仁給とありて樂とラカとよ○
 各むとと知。統後紀五みも可太良可尔。歸之賜と有り和名抄美濃國郡名。各務加々美雄羅嶋。天皇紀不筑紫各
 考ら一猶○德德ハ八幡縁起。雄德山鳩峯。源氏御法。たひと
 ち。ど經の僧とあるハ大徳博ハ和名抄。博士。波加世
 又主税式自博多津漕難波津。と有ハ筑前をり。諸陵式。大
 和國葛上郡博多山の御陵あり○作ハ和名抄。美作。美萬佐
 加按ハ美ハ。ミマの音をきと。如斯書。ハハハハ三字○積ハ和
 名抄陸奥國郡名。安積阿佐加。万葉一不。道隈。伊積流。萬代爾
 ○益ハ和名抄。周防國吉敷郡郷名。益必也。介比止
 未志豆と注。ハ。燒津神社あり○直ハ和名抄。安藝國
 神名式不同郡。燒津神社あり

沼田郡郷名。安直。安知加○銚ハ和名抄。下總國郡名。葛銚加
 止志加○色ハ和名抄。陸奥國郡名。色麻志加萬○伯ハ佐伯
 也。サヘキとよみ。國造本紀波倭國造とあり。和名抄。伯耆
 と波々岐とあるハ。入聲ハ波行ハ轉例をり。以上キクの
 二韻ハ且カと。少カ引出ハ。古韻ハ活用ある事と示さ
 むとて猶轉韻のハ。下ハ注。ベキと。和名抄。三河國郡名。
 渥ハ於角切。韻會ハ。角切。とあるハ。音ハ。アク。て。他行ハ。瀝。瀝。
 轉ハ。非。傳。ハ。周。澤。既。瀝。云々。字鏡集。ハ。アツシ。とよ
 史記韓。非。傳。ハ。周。澤。既。瀝。云々。字鏡集。ハ。アツシ。とよ
 めハ。此。訓。と。と。ま。る。ろ。き。と。あ。ろ。よ。り。と。
 新韻ハ。フ。と。云。ハ。韻。ハ。古。韻。ハ。波。行。ハ。且。て。ひ。り。り。其。ハ。給。邑。
 揖合。始。塔。法。甲。雜。等。の。字。を。り。是。ハ。韻。鏡。三。十。八。轉。を。り。四。十。一

ハ和名抄ハ。遠江國郡名。設樂志太良。○達ハ和名抄ハ。安房國平群郡郷名。達良太々良。同陸奥國郡名。安達安多知。○既ハ和名抄ハ。既約ハ姪電二音。多知布宇里。○察ハ禁秘御抄ハ。中宮女房按察。○列ハ空穗物語祭使ハ。大學より。三條院より。か。うちより。何由海むとて。もち切きて。立る云々ハ。列引てあり。新韻ハイと云。体々。古韻ハ夜行ハ切。りり。其ハ拜愛依等。○拜ハ和名抄ハ。山城國紀伊郡郷名。拜志波以之。同加賀國石川郡郷名。拜師波也之。出雲風土記ハ。拜志郷ハ。本字林と有り。甲斐國山梨郡郷名。拜尺波也尺。○愛ハ和名抄ハ。相模國郡名。愛甲阿由加波。同尾張國郡名。愛智ハ訓注ヤアユチとよむべ

一書紀ハ鮎市ハ作まう。○依ハ色葉字類抄ハ。子イルとも。子エタリ。とも注せり。是ハおのづから字音の活用たる。か。子例猶あり。此外オとサエ。海々万葉十六ハ。三四佐倍有。雙六乃佐敷とあると。催馬樂より。伊知六乃左以也。三四左伊也。とあり。去の左以也。佐敷も来字の音なり。和名抄ハ。雙六子一名六来とある是なり。か。る例より。枚舉ハ違あり。右ハ引出る字音ども。和名抄とけ。め。今日近く見馴る。聊書技大方の例ハ然ありと物。たる。古韻の活用今並と。異なり。實ハ不可思議と云べ。そもく韻ハイと切。くあり。開催の類。ウとひ。くあり。東中の類。普通の説ハ。是ハ阿行の伊

偈と云ふを甚シトキ非ズト云。イハ即チ夜行の以テなり。ウハ即チ和
 行の字なり。其ハ如何ある故り。阿行の伊偈あり。あつと
 云ふ。まへて阿伊偈衣於の五音ハ。音質清陽ありて輕キゆゑふ。
 其音下ニ低クらむ。故ニ他の音末ふ。加ズるなり。言語ヲてモ求
テ云フむト求
 あり。尋常のハ。語の中下ニ阿行の五音ト云ハ入リあり。絶テ
 なきとあり。ハ。阿行のこト。きおゆリハ。轉音ナリ。又ハ
 夜行の以テ字延スる。老越ノおどクの。イエ
 あり。此混ヒ猶アリ。ゆゑ惑ムなり。まシるハ五位九行お
 乃リ。阿行の音ト引リゆゑふ。イウの韻ヲ即チ阿行のこト云ハる
 其ハ加左多奈波万良和ハ。阿のひキ
 あり。岐之知ル比美以利ヲ為ス。伊のむキ
 あり。類シて。木、國ト紀伊。大隅國郡名。襲ト曾於。出雲國
 郡名。仁多ト尔ヲ以テ多。筑前國郡名。毗伊ト云ハるハとキせり。是辨置
 有ベり。彼引聲の理ヲ。譬ハ五十音の中。阿伊偈衣

於の五音ハ。母音なり。殘る四十五音ハ。皆子音なり。出生音ト。
 是ト細キ云ハ。阿ハ母音ナリ。加左多奈波万良和ハ。阿ハ附キ
 屬スたる子音なり。又伊ハ母音ナリ。岐之知ル比美以利ヲ為スハ。伊
 附キ屬スる子音ナリ。偈衣於ハ他音ナリ。阿行ハ向ヒ接ス
 時ハ。其母音の横行。九音のうチと出生ス。是ハもハ反切
 母の血肉ト受テ。生ル音ヲ求メて引リ時ハ。出ルの夏
 其母の音質ト。餘聲ハ帶ルと云ハ。靈妙不思議ナリ。ききど
 右ハ云ハる如ク。阿伊偈衣於の五音ハ。其質輕キゆゑふハ求メる
 低ク。爰ト以テ。字音の韻ヲ。言語ハもハまへて。阿行
 の五音ハ。添フるハ。まシるハ韻ト。和行のウハあり

と云ふ證ハ。紅梅コウバイと拾遺集物名ハ。子コとバ。いりてり。と隠せり
 紅コウと轉セウ。新撰字鏡ハ。世平乃不江。芭蕉バウと和名抄ハ。發勢ハツセツ乎
 波ハとあり。古今集物名ハ。心ココロとセセと也。とも見せり。和名抄ハ。
 襖子ウスと阿平之物語ハ。あつと云ふ。皆此襖ウスとウなり。あまら
 和行の字韻あり。故ハ。其行のヲカク轉クせり。仁徳天皇紀ハ。考
 羅濟ササキと。古事記ハ。訶和羅前ササキハ。作り皇后紀ハ。草羅城ササキとあり。草
 字ハ。サワの轉韻あり。上ハ。あウハ。和名抄ハ。筑前國。郡名早
 和の轉セウ。此外ソノハ。依例猶多タなり。若カクイウの韻。阿行のカクハ。むウ
 然カク例カク。まウハ。依例ハ。右ハ。引り。紅コウ字ハ。正カクなり。ヲカク轉クて和行
 のカクハ。混カクあり。或人ハ。まウハ。誤カクなり。と云ハ。あウハ。中々ハ。僻言ヒョクゴン

あり。是亦五十歩の論あり。願カクハ。始終難カク方カクき説カクと云ハ。聞カクま
 あり。或人カクとハ。手カクハ。輕カク。抑カクハ。と云ハ。ハ。悉カクく和行の字
 其カク中カクハ。韻鏡ハ。五轉。六轉。三十七轉等ハ。收カクまる諸字
 ハ。由カクハ。通カクふ字カクハ。自餘のウカクハ。韻等カクとハ。少カク別カクハ。其何カクハ。名カクハ。別
 あり。と云ハ。類合。又訓蒙字會等ハ。記カクせる。朝鮮語文ハ。右の韻
 等カクハ。且カクハ。作り。自餘のウカクハ。韻と云ハ。と書カクり。然カクハ。我邦古來。
 此差別カクハ。是カクハ。彼も同韻カクハ。呼來カクまり。今カクハ。由カクハ。音カクハ。實カクハ。和
 是カクハ。委曲カクハ。論カクハ。支那朝鮮歐羅巴カクハ。涉カクり。和行の字カクハ。より。由
 混カクハ。又阿行のカクハ。混カクハ。ウカクハ。の差別カクハ。朦朧カクと云ハ。明カクハ。より。由
 汚カクハ。俱カク切音カクハ。と有カクり。俱カク切カクハ。と云ハ。由カクハ。こカクハ。切カクハ。ベカクキ

理、尤、適、正、尚、子、求、切、音、由、事、注、日、觀、要、致、知、べ、し、ふ、延、享

○轉韻とツル事

韻を常々。井ンとのを呼。別たをど。字、韻の更も。云、金、石と
 始の。まへて音、餘声あるもの。ハ、響と云、ふ。倣て。韻をも。ト、ハ
 キとの云、りされど。ニホヒと云、むりく優。其の金玉及鳥
 獸の、あまで餘声ハニホヒと云、觀物、餘情の添、とも。然、云
 て。いつとも同義あり。其、ニホヒも。句、字と書、るも。句、の字
 書、不見、直、されハ韻、字の旁、と。よ、えたるを、あり。此、韻、古、より定、
 ありて。たとへハ東、の韻、ハ、西、の韻、ハ、南、の韻、ハ、北、の韻

をク、あて。東、西、南、北と誰、よみて。定、なる聲、や、あまど。上、ハ
 も論、る如く韻、の音、の餘声、あまハ。他、韻、ハ轉、行、も、多、り。譬、ハ
 孫、仙、論、郡、椀、判、翰、林、臨、勘、等、常、あり。又、ム。の二、韻、の外、他、ハ。韻、
 例、なきと。讀、連、ゆるとき。ハ。ウ、の韻、ハ轉、る。と有、源、氏、竹、川、ハ
 例、そ、う、あ、も。を、ふ、ま、う、ま、つ、り。と有、御、孫、あり。但、御、莊、ハハ、あ
 猶、考、論、ハ公、任、卿、集、ハ。その頃、す、ら、と、と。ち、ろ、と、ハ、ふ、よ、み、て
 お、し、り、は、さ、り、ろ、ろ、づ、る。と有、論、ハ。郡、ハ和、名、抄、淡、路、國
 津、名、郡、郷、名、ハ。郡、家、久、宇、希、と注、せ、り。椀、ハ源、氏、寄、生、ハ。碁、て、の
 ぞ、ふ。と、う、を、ん、を、ど、ハ、の、常、の、や、う、み、て、と有、椀、飯、あり。
 判、を、齋、宮、式、ハ。二、司、判、官、等、絹、三、疋、云、々。椀、冊、子、三、ハ。六、位、藏、人。

う一のまゝぐん。と打ひて云々。輪ハ新按樂記。品玉輪
 鼓云々。林ハ和名抄。林檎利宇古字音韻並轉。臨ハ
 寶方朝臣集。岩志つめ。まうぶのゆつものつらひ云々。猶
 妻かり臨事祭まり。勘ハ後撰集。聞つり。かうぶせき侍
 りる。空穗藏開。はらきりりねがかうぶゆるけりま
 て云々。勘事カウジ之あまら猶妻りきど。うさりねが洩せり。然ハ
 大方ハ。かゝる轉韻ハ。唯音便ハ。云通モ。物モききど。音
 便ハ。觀音ハ。カンノン。因縁ハ。インチン。三位ハ。サンミ。頗阿
 とトナハ。あど。云々。類ハ。あそひふき。又生極省等ハ。イの韻
 と。鼻聲ハ。ンハ撥ハ。轉韻ハ。一格ハ。和名抄。越前國丹生郡

唐音云々
 是ハ省字
 の下ハ
 誤ハ。此處
 入ハ。

郷名。從省之士無。と有ハ。省ハ。とあり。塵添塩囊抄十三。宋朝
 ニハ。生字ヲ。サント讀也。人ヲ罵詞ニ。シユクサント云。畜生ト
 書云々。又大鏡三。中門の廊のさんどり。のぞりせ給へば
 云々とあるハ。櫺子ハ。と常ハ。連子ハ。と書り。ハ非あり。江次
 第。祈年穀奉幣條。第二三四間。北櫺子壁邊ハ。且筵云々。和名
 抄。牆壁具ハ。櫺子ハ。礼迹ハ。之ハ。注ハ。是ハ俗云。唐音の傳ハ。なるハ
 て。今も普請ハ。省經ハ。あど。云々。類ハ。此撥韻定ハ。と見ハ。或ハ牟
 あり。あるハ。ハ。と記ハ。たハ。と思ハ。西土人の云ハ。吾古人も
 得聞ハ。と。と見ハ。と。今も然ハ。國名ハ。備後豊後ハ。と。ピン
 グブンゴと云ハ。は。是も古ハ。ハ。後ハ。と云ハ。ハ。人丸

集ホ。隱カして然カよみたり。中務集ホも。ぬおのかとのあて。く
たきくる人の。又ちくおのあて。ゆふゆふと有ハ。豊ゴ後守ナリ
あきくハ備ゴ之後ゴ。豊ゴ之後ゴ。音便ホ。ビンゴ。ブンゴと訛ホくるふ
うと思ひ。うど東鑑文治二年八月五日條ホ。長門國向津奥
庄地頭謀叛人豊西ゴ。郡司弘元などあきべ豊ゴ之の轉ホあり
む。今按ホ。豊ホハフンと云ホ。又唐音ホあり。あくるハ備ホ字ハ。古
來韻ホ。漢音ホ。呉音ホ。との。よみ來ホ。備ホとホも云ホハ
如何ホと云ホ。ビも音ホ。シも韻ホあり。抑備ホ字ハ。韻鏡六轉ホ。至
字の所属ホを備ホハビ。飢ホをキホ。韻ホと云ホ。吾皇ホ。関人
とちの。云ホる論ホ。何ホの字ホも無韻ホのりの有ホべホ。あ

む。磨光韻鏡ホ。備ホをビホと注ホ。彼書ホハ信ホべきホありぬ
ど。每字韻ホ。附ホたり。西土音ホ。たきホなり。塵添ホ。壺囊抄十
小ホ。和ホと云ホ。あり。是亦和ホ。ハの韻ホ。加ホ。右の備ホ
おの。おの和ホ。韻鏡ホ。八轉ホ。戈字ホの所属ホ。無韻ホと聞ホ
と。磨光ホ。おのヲホ。と注ホ。按ホ。韻鏡第一二三轉ホ。納ホくる東
冬江の諸字ホの韻ホ。吾邦千年以來ホ。專ホ。ハ韻ホ。不定ホ。西土
人の悉ホ。韻ホ。云ホ。聞ホ。實ホ。ハ彼ホ。ハ云ホ。ハ
と云ホ。其韻質ホ。聞ホ。ハ况ホ。備和等ホ。添ホる微
韻ホ。慥ホ。ハ聞定ホ。べき理ホ。あきと知ホ。十訓抄ホ。一ハ。太后宮ホ。ま
わりて。めうホ。ハたホ。ずホ。とあるホ。馬道ホ。ハてホ。

音。ウを韻之。塵添盛囊抄十小。羅皂衣とあるもあれど、餘ハ准
て知べし

異音

異音トハ。普通小用。き音等々。古書の中ニハ。往々見返と
里。まうらふ此。異音等と知らず。普通の音と信じて。古書ハ
讀得がき物ぞ。是と姑古音と名付。即五十音小序。訓と
交。記。但。耶和行の以字延等。まうらう安行小混。次第見不便
なり。まめむら為あり

阿 万葉北小。阿母志志爾。已等麻乎佐受豆。阿母乃自母。
多麻尔母賀母夜。又阿母志志可。多麻乃須我多波。

以エ 和名抄小。攝津國住吉郡郷名。榎津、以奈豆
宇 万葉八小。伊奈字之。河向立
于 應神天皇紀小。伊夜于古珥辭氏
衣 風俗荒田不見也。戸末并良年。奈加川太衣。續紀決五の宣
命小己師。衣須夜多退。武都良。と有衣也。夜の誤ちるべし
要 万葉十九小。春花乃爾太要盛而。訓
江 同光小。宇知江須流。須流河乃禰良波
加 和名抄小。草蛭。加佐比流。又信濃國郡名。筑摩豆加萬
加 新撰字鏡小。嘻囉。須加奈加留。催馬樂筆垣小。須加乃祢乃。
加 頁。加名須加名支已止乎式小。大和國廣瀬。即廬瀬坐。和加

宇加乃賣神社。祝詞式同和名抄。稻菟宇介乃美太萬俗云

宇加乃美太萬

万葉ハ世之シ已呂モ爾ニ阿加都カ爾ニ迦ケ理リ

續紀三の宜命ノ藤原大臣乃仕奉リ流ハ狀ハ婆ハ

價ケ賣ケ 万葉ハ世ハ之シ已モ呂ニ爾ニ阿カ都カ爾ニ迦ケ理リ

て悔ハとく

雅ケ 同十六ハ吾ハ宇ハ奈ハ雅ハ涼ハ珠ハ乃ハ七條ハ同十八ハ伊ハ比ハ都ハ雅ハ爾ハ許ハ

等能都ハ可ハ位ハ曾ハ

假ケ 真字伊勢物語ハ假ハ性ハ為ハ計ハ留ハ女ハ許ハ爾ハ

賀ケ 古事記下卷ハ宇ハ知ハ和ハ多ハ須ハ夜ハ賀ハ波ハ延ハ那ハ須ハ

宜ガ

出雲風土記ハ奴ハ奈ハ宜ハ波ハ比賣命ハ

岐ケ 万葉ハ世ハ之シ已モ呂ニ爾ニ阿カ都カ爾ニ迦ケ理リ

野國邑樂郡郷名池田伊岐太本草和名ハ蜻蛉加岐呂布

大同類聚方ハ一ハ保ハ乃ハ岐ハ波ハ故ハ比ハ且ハ且ハ

伎ケ 万葉十八ハ末伎太末不官乃末爾末又末伎能末爾末爾

枳ケ 雄略天皇紀ハ伊ハ良ハ甫ハ流ハ柯ハ枳ハ底ハ云ハ々ハ伊ハ祝ハ懸ハてハきハりハ万葉

其ガ 万葉三ハ已ハ知ハ其ハ智ハ乃ハ同十四ハ左ハ其ハ呂ハ毛ハ能ハ同十九ハ欲ハ

其ガ 其母理爾ハ

其ケ

万葉ハ世ハ之シ已モ呂ニ爾ニ阿カ都カ爾ニ迦ケ理リ

○音韻啟蒙上卷

○四十四

巳

催馬樂葦垣ハ太礼レ加カ巳コ乃ノ巳コ止ト乎ヲ於カ也ヤ尔ニ末マ宇ウ与ヨ巳コ之シ新ニ撰字鏡ハ拘杞ハ久ク巳コ蠟ト止ト巳コ与ヨ虫シ万葉ハ廿ニ巳コ枳ギ爾ニ之シ布フ爾ネ

乃云々

義

佛足石ハ哥ハ佐サ々々義ゲ麻マ宇ウ佐サ牟ム又景行天皇紀ハ身毛津君ハ主水式ハ牟義ケ都ト作リ和名抄美濃國武藝郡ハ牟ム

介ケ注セ兵部式同國傳馬条ハ武義郡ハ作リ熱ニ

田古縁記ハ麻蘇義ハ乎波理ハ乃夜麻ハ丹後風土記ハ多タ麻マ久ク

志義シ活語雜話ハ佛足石ハ佐々義シとサギとよト志義シ活語雜話ハ佛足石ハ佐々義シとサギとよト

天武天皇紀ハ次田倉人ハ堪足ハ訓注ハ不堪ハ此云武規ハ

既規

万葉五ハ可カ既ケ麻マ久ク波ハ阿夜爾ハ可カ斯シ故コ斯シ

記

久

大同類聚方ハ一ハ保ホ乃ノ記ケ天テ訶カ門モ及ヘ攤ナ須ス

新撰字鏡ハ小ハ臆ハ豆ツ久キ巳コ毛モ利リ巳コ曠ハ同書ハ豆ツ支キ又ハ踝ハ久キ比ヒ々々

須ス同書ハ小ハ臆ハ支キ比ヒ々々須ス乃ノ須ス知チ久ク豆ツ乃ノ支キ比ヒ々々須スと注セ

と思ヒ西國ハ方ハ言ハ小ハキキビビとト讀ミ又ハ堀ハ井ハ世ハ久キ古コ事シ記キ下カ卷マ

小ハ和ハ加カ久ク閑ヘ爾ニ韋キ泥デ互ハ麻マ斯シ母モ能ノ若カ方ハ万マン葉ヤ十ジュ四シ小ハ伊イ久ク豆ツ

君麻マ氏シ爾ニ

久

新撰字鏡ハ小ハ菽ハ波ハ久ク辺ヘ良ラ康カ賴レ本ホ草ソ小ハ王オウ瓜カ比ヒ佐サ久ク万マン葉ヤ廿ニ

小ハ阿ア例レ波ハ久ク江エ由ユ久ク

俱

雄オウ畧リョク天テン皇ス紀キ小ハ陀ダ俱ク符フ羅ラ尔ニ阿ア武ブ柯カ枳キ都ツ枳キ

具

續紀ハ廿ニ四シ小ハ加カ久ク伊イ波ハ流ル則ソレ朕レ波ハ不フ在ズ万マン葉ヤ廿ニ小ハ都ツ久ク比ヒ夜ヤ

○音韻啟蒙上卷

○四五

波^ハ湏^ス具^キ波^ハ由^ユ氣^ケ等^ト毛^モ

神名式^シ。近江國伊香郡伊香具神社。同伊香具^キ阪神社

日本紀竟宴哥^カ。和陀都^ツ弥^ミ遠伊底^チ玖^ク麻斯^シ計^ケ武^ブ

古事記中卷^チ。多遲摩^マ母^モ呂須^ス玖^ク書紀^キ。諸助^ス小作^シまり

万葉^マ九^ク須^ス流^ル河^カ乃^ノ禰^ニ良^ラ波^ハ苦^ク不^フ志^シ久^ク米^メ阿^ア流^ル可^カ

康賴本草^ソ。狸骨^リ大奴^ヌ計^ケ

万葉^マ五^ゴ等^ト計^ケ自^ジ物^{モノ}字^ジ知^チ計^ケ伊^イ布^フ志^シ提^テ

仙足石^{セン}歌^カ。阿^ア止^ト乃^ノ祁^キ留^ル良^ラ牟^ム趾^チ存^ゾらんと

和名抄^シ。霽^シ靈^{レイ}加^カ美^ミ止^ト介^ケ大須^{ダイ}本^{ホン}。賀^カ美^ミ度^ト岐^キ。小作^シまり

新撰字鏡^シ。酌^シ酏^ヒ惠^エ比^ヒ佐^サ万^{マン}太^{タイ}古^コ留^ル和名抄^シ。經^キ巖^イ宇^ウ古^コ呂^ロ

毛^モ知^チ

万葉^マ十^{ジュ}四^シ。比^ヒ古^コ布^フ禰^ニ乃^ノ斯^シ利^リ比^ヒ可^カ志^シ母^モ與^ヨ

法王帝說^フ。等^ト已^イ弥^ミ居^ケ加^カ斯^シ支^シ移^ヤ比^ヒ弥^ミ。欽^{キン}明^{メイ}天^{テン}皇^ス紀^キ。天^{テン}皇^ス

所用^{ヨウ}弥^ミ移^ヤ居^ケ國^{クニ}

太平記^{テイ}四^シ十^{ジュ}。安^ア居^ケ院^{ヰン}。良^{レイ}憲^{ケン}法^フ印^{イン}。竹^{チク}中^{チュウ}僧^{ソウ}正^{セイ}

古事記^コ下^ゲ卷^{クワン}。許^キ能^ネ泥^ニ能^ネ泥^ニ婆^ハ布^フ美^ミ夜^ヤ。万^{マン}葉^ヤ十^{ジュ}四^シ。宇^ウ良^{レイ}賀^カ

禮^{レイ}勢^{セイ}那^ナ奈^ナ登^ト許^キ波^ハ爾^ニ毛^モ我^ガ母^モ

万^{マン}葉^ヤ九^ク。多^タ知^チ許^キ毛^モ乃^ノ多^タ知^チ乃^ノ佐^サ和^ワ伎^キ爾^ニ。立^{タチ}鴨^{カモ}の立^{タチ}の騷^{サウ}小^コ

たり

娛^ク雄^{ユウ}畧^{リョク}天^{テン}皇^ス紀^キ。阿^ア娛^ク羅^ラ你^ニ陀^タ陀^タ伺^シ

鼓

拾遺集ふ。おんく。うち侍りる時。畑焼侍りる。と見てと云。おんく。と和名抄ふ。金鼓と有。因云。武烈天皇紀ふ。阿波寤之羅陀魔。と有。寤字。と。ビとよむべ。くもあ。を。疑。の。寐。字の誤。ウ

佐

新撰姓氏録。山城國神別。阿多。隼人。傳ふ。富乃須佐利乃命。之後也。因云。催馬樂櫻人ふ。沙須加戸利已牟。と有。沙ハ。阿の誤。あるべし

挾

万葉十一ふ。恨登思。狹名盤云々。あ。は。サ。と。む。む。べき。訓。を。と。と。セ。小。訓。王。真字伊勢物語ふ。社ふよりのと。數所見と。り

至

法王帝説ふ。多至波奈等。已比乃彌已等云々。同書小至字。或當知音と。有。欽明天皇紀ふ。河内直或作加不至又多至

志

波奈大女郎と有。万葉廿ふ。多志塗毛等伎爾。又美佐可爾多志。又多志夜。波婆可流。續紀八ふ。但志摩。若狹。馬。太。知。萬。但

志

続後紀十九ふ。苗刺。天照國乃日官能。三代實錄九ふ。讚岐國梶州天川。宇夫志奈神。是ハ尾張凡土記ふ。葉栗郡若

志

産屋之地也。と。有。小。樾。て。訓。つ。古事記上卷ふ。阿遲志貴高日子根神。紀。小。味。和。高。彦。根。小。作。ま。り。内宮儀式帳ふ。經乎志目加跡止云。齋宮式ふ。梁紙ふ作

○音韻啟蒙上卷

○四十七

斯^ナ 古事記上卷小。曾米紀賀斯流邇斯米許呂母^モ
思^ナ 万葉十四小。乎豆久波乃。禰呂爾都久多思^リ
又等許乃^ノ

漱太思爾^ニ

之^ナ 万葉廿小。阿米都之乃云々。又且爾刀里母之且^テ

之^ス 催馬樂大芥小。由之乃支乃盤牟之加女乃止宇^ウ

次^ス 万葉十七小。宇良吳悲次奈里^リ

須^ソ 武烈天皇紀小。伊須能箇淤賦屢鳴須擬底。万葉十六小。佐

須^ソ 須比立率而來奈麻之乎。同比小。麻由須比爾由須比之比^ロ

毛乃^ノ

須^セ 祝詞式小。御膳持流若宇加能賣命^メ

須^シ

和名抄小。鹿尾菜比須木毛伊勢物語小。新撰字鏡小

袖と志つもと有祝詞式小。宇須波伎坐世^セ

鍋佐須奈戸^ノ 和名抄小。鉦子と佐須奈倍と注せり。又備前

郡郷名香椎と加須比と注せり。筑前国糟屋

たきふ。本の終ふよむべし。新続古今集小。佐保姫の衣と

意子蜀椒云々。古語以意曰都須^シ 和名抄小。意苡豆之太萬。

古事記上卷小。用婆比迹阿理加用婆勢^シ 通ひの延

万葉十四小。西美度波久未受^ズ

西^ソ 同十四小。西良思馬伎那婆都良波可馬可毛^モ 月とそら

○音韻啟蒙上卷

○四十八

世シ

あは。強。えり
か。と。し。と。く

新撰字鏡よ。櫛左世夫同書ふ。鳥草樹と。尤之夫と有。同木

紀と
も有

曾ス

万葉廿ふ。之良奈美乃。與曾流ヨスル

曾セ

祝詞式よ。心ココ悪子乃。心荒アラ波ハ曾セ水神ミコ匏云々

所ス

万葉十四ふ。相模祢乃。乎美禰見所久思シ

祖ス

同廿ふ。弊ヘ古祖コソ志良奈美。ソヤスふよ多るハ。今昔物語卅

ふ。畜生ソソラ。夫ヲ失ヒツレハ。他ノ夫ヲ儲タクル事无シ云

云。カソイロハ。アハレトミラム。ツバメソラ。フタリハ人

ニ。チギラヌモノヲ

太ッ

和名抄ふ。遠江止保太阿不三

太テ

万葉十二ふ。五十殿寸太薄寸眉根乎いとのきてハ。いと

り

多ト

万葉十八ふ。故事部爾夜良波比登加多波乎可母後撰集

の。花のうかどふ麓みあら。さるのうきとぞ。ほご一あり因

云万葉廿ふ。伊牟多禰乎伊牟奈之爾志豆と有多ハ多ト

よきて。妹イモあねあめさぎ多ふナの古音何りハ聞ゆき

ど。然シカらむ。是ハ轉音ト。宣化天皇紀ふ。推田君とある田

ふ。那の旁注あまハ。推那君シヒナの。轉ナありハおとハ知る白氏

文集四十ふ。劇者情易鐘ヨシメとあるハ。ハナハダシキの轉ナ

多ッ

万葉二ハ多籠良家。夜晝登不云ハ。奴等之

知ト

万葉尤ハ。都久志能佐伎爾。知麻利為互。催馬樂櫻人ハ。曾

知ッ

乃不祢知々女

知ッ

万葉十四ハ。信濃奈流。知具麻能河伯能。和名抄ハ同国郡

古事記上卷ハ。不治所事依之國而哭伊佐知流。儀式ハ知

岐黒綿

神代紀ハ。阿泥素企多伽避顧祢

允恭天皇紀ハ。佐瑳餓泥能區茂能於盧奈比

止ッ

催馬樂晝目歌ハ。伊止古仁可。和名抄ハ山城國郡名葛野

度ッ

加止乃。同下總國郡名。葛飴加止志加。又棺比止岐

万葉十四ハ。西美度波久末受古事記上卷ハ。底度久御魂

加毛度久斯麻邇和名抄ハ。山城國葛野郡。郷名。葛野

刀ッ

加度乃

万葉六ハ。刀我乃樹能。同十四ハ。多刀都久能。同尤ハ。奈爾

波刀乎。同十四ハ。阿米乎萬刀能須伎美乎等麻刀母

刀テ

万葉十四ハ。比賀刀禮婆。同尤ハ。阿之可伎能久麻刀爾多

等テ

知互

渡タ

万葉尤ハ。加多米等之。以母加太去里波

真字伊勢物語ハ。浪渡之瀧与。何將隆

登^ツ 万葉^ナ廿^ニ小^コ。美^ミ等^ツ登^ツ志^シ怒^ヌ波^ハ祢^ネ子^コ

屠^ツ 神武^{カミヤマト}天皇^{テウ}紀^キ小^コ。曾^{ソウ}祢^ネ梅^メ屠^ツ那^ナ藝^ギ豆^{マメ}

等^タ 万葉^{マン}五^ゴ小^コ。等^タ乃^ノ斯^シ久^ク母^モ佐^サ夫^フ志^シ計^ケ米^メ夜^ヤ母^モ

等^ツ 万葉^{マン}廿^ニ小^コ。美^ミ等^ツ登^ツ志^シ怒^ヌ波^ハ祢^ネ子^コ

と^ツ 公事^{コウジ}根源^{ゲンゲン}百^{ヒャク}一段^{イツタン}小^コ。兄^{ケイ}弟^{テイ}ふてありーぐ。兄^{ケイ}ハま^マと^トく。弟^{テイ}

え。とめり云々

那^ナ 崇^{タカ}神^{カミ}天皇^{テウ}紀^キ小^コ。比^ヒ賣^メ那^ナ素^ソ寐^ミ殊^{ジュ}望^{ボウ}。ま^マと^ト繼^{ツグ}體^{テイ}天皇^{テウ}紀^キ小^コ。毛^モ野^ノ

臣^{ミコト}と愷^ケ那^ナ能^ノ倭^{ヤマト}俱^ク吾^ゴとあり那^ナハ轉^{マシ}語^ゴヲ那^ナとよむ考^{カウ}べ

奈^ナ 万葉^{マン}廿^ニ小^コ。奈^ナ美^ミ奈^ナ等^ツ惠^ヱ良^ラ比^ヒ。新^{シン}撰^{セン}字^ジ鏡^{キョウ}小^コ。因^{イン}取^ク物^{モノ}而^ニ藏^{カウ}志^シ奈^ナ

奈^ナ子^コ 催^{ツキ}馬^{ウマ}樂^{ガク}木^キ綿^{ワタ}志^シ天^{テン}小^コ。伊^イ奈^ナ乃^ノ保^ホ乃^ノ毛^モ呂^ロ保^ホ耳^ニ志^シ天^{テン}

爾^ニ子^コ 万葉^{マン}五^ゴ小^コ。奈^ナ利^リ乎^ハ斯^シ麻^マ佐^サ爾^ニ刊

余^ヨ子^コ 新^{シン}撰^{セン}字^ジ鏡^{キョウ}小^コ。鏐^ハ太^タ加^カ尔^ニ刊

居^イ子^コ 万葉^{マン}七^{シチ}小^コ。柴^{シバ}莫^ナ莉^リ曾^{ソウ}居^イ同^{ドウ}九^ク小^コ。妻^{ツメ}依^{ヨリ}来^キ西^セ居^イ法^{ホウ}王^{オウ}帝^{テイ}說^{セツ}小^コ。阿^ア

珥^ヒ 應^{オウ}神^{カミ}天^{テン}皇^{テウ}紀^キ小^コ。異^イ擲^ヤ敷^フ多^タ那^ナ羅^ラ珥^ヒ仁^ニ德^{トク}天^{テン}皇^{テウ}紀^キ小^コ。等^ツ珥^ヒ箇^カ慨^ケ

梨^リ 大^{ダイ}同^{ドウ}類^{レイ}聚^{ジュ}方^{ホウ}五^ゴ十^{ジュウ}小^コ。保^ホ登^ト保^ホ利^リ安^{アン}流^ル毛^モ奴^ニ用^{ヨウ}留^{リウ}

称^{シヨウ} 神^{カミ}武^ブ天^{テン}皇^{テウ}紀^キ小^コ。曾^{ソウ}祢^ネ梅^メ屠^ツ那^ナ藝^ギ豆^{マメ}。万^{マン}葉^{ヤツ}二^ニ小^コ。山^{ヤマ}多^タ都^ツ禰^ニ迎^{ヨウ}加^カ

○音韻啟蒙上卷

○五十一

將行

万葉五小。比等母禰能。宇良夫禮遠留爾。

同此小。宇乃波良和多流。催馬樂更衣小。波支乃波乃須利

也。武烈天皇紀小。阿鳴依與志乃樂能云々。

神武天皇紀小。曾迺餓毛苔。

皇后紀小。珥倍迺利能云々。異枳迺倍呂之茂。神武天皇紀

小。比苦破易倍迺毛。

万葉此小。伊波妣等乃和例乎美於久流。又伊波奈流和禮

波。又伊波奈流伊毛波。又都久志波夜利豆。新撰字鏡小。楯

楯波良木。

波 万葉十四小。乎呂田爾於波流。

同此小。波可禮加由加牟。

和名抄小。讚岐國香川郡。鄉名多配多倍。

新撰字鏡小。聆比曾可已止。櫛久留比。蟬世比。蜷世比。蟬世

比。姪奈比。良介志。字鏡集小。本草和名小。折傷木。以多

比。和名抄小。木蓮子。伊太比。孳尾都流比。日本靈異記小。喜

牟加之比。統紀十小。腦苦比。大坐。三代實錄十三小。驚恠比。

賜天比。農稼無妨。久。矜惠比。助賜。類聚國史。仁壽八年七

月六日。宣命小。天地日月共。護惠比。助給比。

万葉此小。可比。利久麻豆爾。統紀十七小。種々治賜等比。同

○音韻啟蒙上卷

○五十二

廿二小。此大福乎。取捨持行。親王。送奉。教。宣。天。新撰。
字鏡小。蠅加比留和名抄小。雞冠木加比留提乃木。石楠草。
止比良乃木。因云風俗乎津久波小。多加古比須久也。と有。
日記小。去りのねも。きあひぬ里小。住まがり。とあるも。聞。
巨ぬと。キコヒ又と書り。此不審も上小。あぬ。続紀并。
一。小。食。国。政。奏。比。とある。奏。比。とよまむ。妨。なり。む。万。
葉十八小。多知波奈比多底里爾之氏。と有。ハ。蝦。照。り。但。シ。
タテリと出。え。あ。
らまほりれ。

備
続紀十七小。天下遠撫惠。賜同廿七小。慈備救賜止。同廿
八小。恠備喜備。都都同廿一。悔備賜比。和備賜比。同廿六
小。悲備賜比。之乃比賜比。万葉廿小。可奈之備伊麻世云々。
片及名のヒと。いふよる。ハ。今昔物語十七小。僧山ヨリ

法輪ニ参リ返ケル間ニ。極シテ。亦解テ。寢入ニケリ
四時祭式上小。酒垂十四口齋宮式小。褶八十條。又平假名
小。ひと。と。小。よる。ハ。古今序小。かき。と。あ。れ。ひ。露。と。
ハ。れ。と。ふ。云。々。た。と。ひ。時。う。つ。り。あ。と。け。り。た。の。ひ。う。ふ。
一。ひ。ひ。き。り。ふ。と。も。云。々。
備
續紀四十小。荒備流。蝦夷等乎。討治。任賜。催馬樂逢路小。
シノ、ヲ。ふ。キ。ハ。や。ひ。カ。成。
布
万葉五小。許布夜須疑南。同十四小。爾布奈未爾。同廿小。安
之布多氣騰母。
不
万葉廿小。須流河乃禰良波苦不志久米阿流可。

夫ヒ古事記上卷ハ訓建云多タ祁夫ヒ統紀ハ此一ハ佐夫ヒ之ハ岐事ハ乃ハ

之ハ彌ハ可ハ益ハ母ハ神名式ハ伊豆國那賀郡伊志夫神社ハ同郡石

夫ヒ新撰字鏡ハ岐ハ古夫ハ良ハ同書ハ無ハ良ハと注ハ又鞆夫ハ知統紀

十ハ教賜ハ於ハ毛夫ハ氣賜ハ同十七ハ於ハ母夫ハ氣教ハ率ハ

夫ヒ出雲風土記ハ天乃夫ハ比ハ命ハ

符ム雄畧天皇紀ハ陀俱符羅爾

倍ヒ統紀十七ハ慈賜ハ比ハ福ハ賜ハ同北八ハ大法師等ハ奉請ハ

天ハ万葉十四ハ阿我ハ之多ハ波倍ハ思ハ慕ハ延ハ同十七ハ保等ハ登ハ

藝須許惠爾安倍奴久ハ賈ハ同ハ八ハ相ハ有ハ

倍ヒ和名抄ハ注連ハ之ハ利久ハ倍奈波ハ又疑華舍ハ年倍豆保

神武天皇紀ハ異波臂ハ茂等倍屢ハ皇后紀ハ珥倍ハ迺利能ハ云

云ハ異ハ枳ハ迺倍ハ呂ハ之ハ茂ハ

弊ヒ古事記卷ハ大山守命者ハ弊岐君ハ榛原君等之祖也ハ有新

撰姓氏錄ハ日置朝臣應神天皇皇子大山守王之後也ハ

ありと對見べし和名抄ハ能登國珠洲郡日置比岐

閉ヒ統紀十七ハ仕奉ハ負賜ハ開ハ頂ハ受賜ハ理ハ又福ハ賜物ハ有ハ

止ハ念ハ閉ハ受賜ハ理ハ古事記上卷ハ道尻岐閉國造云云備後ハ

保フ万葉廿ハ波保麻米乃可良麻流伎美乎ハ又於不世他麻保

加^カ。ま^ミ。美^ミ。祢^ネ。波^ハ。保^ホ。久^ク。毛^モ。平^ヘ。新^ニ。撰^{ゼン}。字^ジ。鏡^{キョウ}。小^コ。憤^{フン}。比^ヒ。太^{タイ}。比^ヒ。乃^ノ。加^カ。々^々。保^ホ。利^リ。初^コ。阿^ア。保^ホ。已^イ。枝^エ。万^{マン}。太^{タイ}。保^ホ。利^リ。葵^キ。阿^ア。保^ホ。比^ヒ。東^{トウ}。山^{サン}。山^{サン}。保^ホ。々^々。支^シ。婢^{ヘイ}。媛^{エン}。尔^ニ。

保^ホ 保^ハ

万^{マン}。葉^{エフ}。北^キ。小^コ。和^ワ。呂^ロ。多^タ。比^ヒ。波^ハ。多^タ。比^ヒ。等^ト。於^オ。米^メ。保^ホ。等^ト。

萬^{マン}

和^ワ。名^ナ。抄^{セウ}。小^コ。神^シ。籬^シ。俗^{ソク}。云^{クニ}。比^ヒ。保^ホ。路^ロ。岐^キ。狭^セ。衣^イ。四^シ。小^コ。片^ヘ。々^々。み^ミ。え^エ。ま^マ。ぐ^グ。

萬^{マン}

万^{マン}。葉^{エフ}。北^キ。小^コ。宇^ウ。萬^{マン}。良^ラ。能^ネ。宇^ウ。禮^レ。爾^ニ。和^ワ。名^ナ。抄^{セウ}。小^コ。筑^{シク}。前^{ゼン}。國^{クニ}。穗^{ソウ}。浪^{ラウ}。郡^{クニ}。郷^{キョウ}。名^ナ。

弥^ミ

法^{ホフ}。王^{オウ}。帝^{テイ}。説^{セツ}。小^コ。吉^{キチ}。多^タ。斯^シ。比^ヒ。彌^ミ。乃^ノ。彌^ミ。已^イ。等^ト。云^{クニ}。々^々。加^カ。斯^シ。支^シ。移^イ。比^ヒ。弥^ミ。乃^ノ。

未^ミ

弥^ミ。已^イ。等^ト。云^{クニ}。々^々。彌^ミ。字^ジ。當^{トウ}。賣^{バイ}。音^{オン}。也^ヤ。注^チ。又^{マタ}。法^{ホフ}。隆^{リウ}。寺^ジ。藏^{ゾウ}。曼^{マン}。陀^タ。羅^ラ。銘^{メイ}。

美^ミ

文^{モン}。み^ミ。吉^{キチ}。多^タ。斯^シ。比^ヒ。弥^ミ。乃^ノ。弥^ミ。已^イ。等^ト。注^チ。神^シ。名^ナ。式^{シキ}。小^コ。阿^ア。波^ハ。國^{クニ}。

而^ニ

美^ミ。馬^バ。郡^{クニ}。波^ハ。余^ヨ。移^イ。麻^マ。比^ヒ。弥^ミ。乃^ノ。弥^ミ。已^イ。等^ト。神^シ。社^{シャ}。

須^ス

而^ニ。未^ミ。と^ト。未^ミ。の^ノ。誤^ゴ。こ^コ。思^シ。而^ニ。未^ミ。の^ノ。却^{ケツ}。て^テ。非^ヒ。之^シ。思^シ。

○音韻啟蒙上卷

○五十五

無

无

和名抄ハナミチ。腕鳥藏也ウデトリゾウ。無ム々木ツキ。又マタ鰥夫ウヅル夜ヤ無ム乎カ。寡ウツクシ夜ヤ無ム女メ。本ホ大オホ頂タカ。

無ム作サス近江ノミ國クニ阪田フサタ郡ノ鄉ノ名ナ。下シタ阪フサ之ノ無ム佐サ加カ木キ藥ヤク子コ。無ム久ク礼レ途ツ。

之シ乃ノ木キ。日本ニッポン靈異レイイ記キ。赫セツ然ゼン於オ無ム日ヒ天テ利リシテ。日本ニッポン紀キ竟キョウ宴エン。

歌カ。多タ々タ禰ネ吉キチ乎フ。無ム止ト女メ佐サ理リ世セ婆バ。由ユ女メ尔ニ見ミ之シ。千チ載サイ集シユ。

南ミナミ無ム阿ア弥ミ陀タの。五イヒ文字モンジと。句コトの上ノ下ノ若ニきて。旅リョの心ココロとよめ。

る。何ナニとトふく。無ムのぞうれレき。秋アキ風カゼの身ミおまむムよヨもの。旅リョ。

のノ後ノチさサのノとト拾シヨウ遺イ貝バイ外ガイ。あアのノらラ。れレむムらラまマきキやヤ。

めメのノ哥カあアのノ南ミナミ無ムとトあアのノとトよヨめメ。清セイ輔フ袋サイ冊ソク子コ。空カラ也ヤ上ノ。

人ヒトのノらラとトあアのノとトひヒもモ。あアまマとトふフとト。のノらラ人ヒト。

三代サンダイ實ジツ錄ロク卅サウ六ロク。公キミ民タチ。至イタ相サウ賀カ。所オモ念ホシ行マ。須ス。同ドウ四シ。

无 牟

十一トウイチ。小コ共トモ。可カ為ス。所オモ念ホシ行マ。須ス。大同トウドウ類レイ聚ジュ方ホウ四シ十七ナナ。伊イ。

婆バ喇ラ伊イ傳デン散サン流リウ年ネン濃ノウ仁ニ。无ム千チ為ス天テン餘ヨ吉キチ久ク須ス利リ。

日本ニッポン靈異レイイ記キ。迫セム世セ无ムテ。

統トウ紀キ卅サウ四シ。御ミ世セ年ネン緒シュ不フ落ラク間カン。事コト無ム久ク。三サン代ダイ實ジツ錄ロク四シ十ジュウ。

長チヤウ保ホ寶ホウ位イ。天テン奈ナ之シ云クニ々々。万マン葉エフ二ニ。星ホシ離ナレ去ク月ツキ牟ム離ナレ而シテ同ドウ卅サウ。

伊イ牟ム多タ禰ネ乎フ。伊イ牟ム奈ナ之シ爾ニ志シ且ツ。又マタ阿ア乎フ久ク牟ム乃ノ多タ奈ナ妣ヒ久ク夜ヤ。

麻マ乎フ古コ江エ且ツ伎キ怒ヌ加カ牟ム。和ワ名ナ抄セウ。莫マク牟ム俗ソク云クニ。萬マン久ク毛モ。又マタ陸リク真シン。

國クニ郡ノ名ナ。桃トウ生シユ。毛モ牟ム乃ノ不フ。日ニチ向キョウ國クニ郡ノ名ナ。諸シヨ縣ケン牟ム良リヤウ加カ多タ。新シン撰セン字ジ。

鏡キョウ小コ。杜ト牟ム弥ミ乃ノ木キ。蘭ラン伊イ波ハ与ヨ牟ム支シ江エ次ジ弟テイ四シ。大オホ鞠キウ火カ乃ノ官カン。

式シキ乃ノ省シユウ兵ヘイ乃ノ省シユウ。名ナ簿ボ給キョウ云クニ々々。新シン撰セン万マン葉エフ。驚オドロ者シヤ郁ウツク子コ牟ム。

鳴瀝ラム又山郭ヤマホトギス公老牟オイ不死手シナス將門記テ。花散之ハナチリ我身牟ワカミ不成モナラズ。
 吹風フクカゼ波心牟ハコノモ遭杵物アヒキモノ尔佐利計留ニザリケル。片假名カタカナのムと。モ小よ免
 ろろ。字鏡集。名義類聚抄等ナギシ。好とコトムナシ。技とヤマ
 ムムスレバ。と注し。將門記ヤマト。動凌轅ユウリョウ。國使之來責云々。白氏
 文集一ふ。連宵復竟日ロムス浩々。又平假名ヒラガナのんと。モ小よ免る
 へ。蜻蛉日記トヨトミ。ううとありんどんト。あふるばとくせん。
 ちどチド數あるカズ。小堪コカン。
 日本後紀ニッポンノキ。北小畏キタコウ。畏カウ。申賜マシタマハス止ト。癸文德實錄ミチノノリ七ふ。恐牟カウ。恐
 毛申賜モウシタマハス止ト。又新撰字鏡ニッポンノキ。擬毛牟ニギモウ乃木ノキ。と注せり。是ハ轉
 てモミと。モンと云る。轉語條考テンゴジョウコウ合べり。

牟ム 牟ム 謀モウ 儻トウ 米メ 米メ
 康賴本草コウライホクソ。藕豆コウヂ阿知牟アチム女メ。
 新撰万葉ニッポンノキ。人見手ヒトミテ念裳ネシ牟事谷ムシタニ有物緒アリモノヅ。因ユ云ク同書ドウショ。小言コトワザ。路
 キの仮名カナ小用コヨウ。
 乃るノル。心得ココロトク。
 雄畧ユウリョク天皇紀テウテウキ。伊能致謀イノエノチモウ。那我ナガク俱母クモ賊騰セクトウ。
 万葉五小マンヤクイ。伊麻能速都豆イマノハヤツツ。爾多布刀伎ニルタフツバキ。呂可儻ロコトウ。
 万葉マンヤク。卅サウ。和伎米ワキメ故等コト。不多利フタタリ和我見ワガミ之字ノジ。知江須流チエスル。須流スル。
 河乃カノ祢良波ネラハ。苦不志クヒシ久米クメ阿流可アルク。又多比タタヒ等ト。於米保等オメホト。已比ココロ。
 爾志ニシ豆マメ。又マ已マ麻勢マセ波波ハハ。刀自タリジ於米加波オメカハ。利勢受リセズ。
 日本靈異記ニッポンノキ。於保乎オホホ藕止コト利能リノ去止乎コト能米ノメ止母ト尔止伊ニトイ。
 比天ヒテン。

梅

梅

賣

女

毛

安康天皇紀ハ阿梅多ア知夜梅チ牟ム

神武天皇紀カ坂下此サ云ク瑤伽梅カ其ト

万葉カ北カ可ク久之シ許曾賣ソ之安シ伎良米晚キ

続紀ハ卅一ハ朕朝ミ乎フ離而罷レ此ハ言ハ部ハ無ク云々ト和名

抄ハ不レ齧齒ハ無シ之カ如カ女波ハ又備後國郡名ハ神石ハ如カ女志ハ新撰字

鏡ハ不レ嚙ハ奈女ハ佐加ハ

万葉ハ十四ハ於キ吉爾須毛ハ乎ハ如カ母乃ハ母巴呂ハ同ハ北ハ不レ美毛ハ比

半母ハ我母ハ又多ク至チ淫毛ハ等伎爾ハ新撰字ハ鏡ハ不レ聳ハ毛古ハ祿毛ハ豆

支本草和名ハ不レ穢ハ加良須毛ハ岐ハ類聚國史元慶八年二月

四日詔ハ天神地祇之祭ハ闕ハ忌ハ有ハ奈毛ハ危ハ美ハ

毛

毛

母

母

母

母

母

母

母

母

和名抄ハ不レ苦船布奈夜毛ハ非大同類聚方五十一ハ阿毛奈

と云藥品見ハとハりハ催馬樂得錢子ハ志毛ハ由ハ不比波ハ乎ハ標ハ結ハ檜ハ

万葉ハ北ハ和須例母ハ之太波ハ又都知爾ハ折知母ハ可ハ毛ハ漢書昭

帝紀ハ不レ立ハ燕王為天子ハ大逆母道ハ母無ハ子ハ

万葉ハ五ハ比ハ等母ハ禰能宇良夫禮遠留爾ハ神代紀ハ不レ倉泉之

竈此ハ云譽母ハ都俳遇ハ比ハ鎮火祭祝詞ハ不レ与美津枚坂ハ有ハ

日本紀私記ハ不レ師說淹滯二字ハ乎ハ仮名日本紀ハ不レ志豆美止ハ

止ハ母利ハ天ハと注也ハ云々

景行天皇紀ハ不レ藁雲此ハ云ハ茂羅玖毛ハ片仮名ハ不レ才字鏡集ハ不レ

夜

姫フ七モコト注セリ。アヒムコシ
万葉十四ハ波マ都ソ豆ツ夜ヲ伊マ思シ乎。多タ能ノ美ミ同ト北ノ波ハ流ル弊ヘ
等ト佐サ夜ヲ爾ニ奈ナ理リ奴ス禮レ婆バ云ク々。夜ノヲ。古ノ音。あ。ら。め。つ。

夜

万葉十四ハ四シ比ヒ乃ノ故コ夜ニ提テ能。

也

同ト二ニ吾ハ者ハ毛モ也。安ヤ見ミ兒コ得エ有リ

移

同ト五ノ都ツ地チ爾ニ意イ加カ米メ移ヤ母モ欽キ明メイ天テン皇ス紀キ所シ用ヨ弥ミ移ヤ居ケ國クニ。
繼ツ體テ天テン皇ス紀キ不ズ穗ホ積ツ臣シ押オ山ヤマ注シ百ヒャク濟セイ本ホン紀キ云ク意イ斯シ移ヤ麻マ岐キ。
彌ミ有リ押オ山ヤマ君キミ之ノ法ホウ王オウ帝テイ說セツ不ズ等ト已イ彌ミ居ケ加カ斯シ支シ移ヤ比ヒ弥ミ神カミ。
名ナ式シキ不ズ阿ア波ハ國クニ美ミ馬マ郡クニ波ハ余ヨ移ヤ麻マ比ヒ弥ミ神カミ。

已

法ホウ王オウ帝テイ說セツ不ズ多タ至シ波ハ奈ナ等ト已イ比ヒ乃ノ彌ミ已イ等ト又マタ等ト已イ乃ノ弥ミ々々乃ノ。
弥ミ已イ等ト云ク々。已イ字ジ或ワ當トウ余ヨ音オン古コ注シュ遺ヰセリ。

由

万葉十四ハ安ア奈ナ由ユ牟ム古コ麻マ能ネ同ト北ノ阿ア多タ由ユ麻マ比ヒ和ワ我ガ須ス。
流ル等ト伎キ爾ニ。

由

同ト北ノ麻マ由ユ須ス比ヒ爾ニ由ユ須ス比ヒ之シ比ヒ毛モ乃ノ同ト九ノ由ユ奈ナ由ユ奈ナ波ハ。
氣キ左サ倍ヘ絶テ而シテ古コ事ジ記キ上ジョウ卷マキ不ズ登ト由ユ宇ウ氣キ神カミ仁ニ德トク天テン皇ス紀キ不ズ瑳サ。

由

由ユ迺ノ虚コ鳥ヲ統トウ紀キ十シウ本ホン行コウ來ライ迹ソク事ジ止ト曾ソウ云ク々。肥ヘ前ゼン風フウ土ツチ記キ不ズ。
佐サ比ヒ登ト由ユ母モ為シ祢ネ足ソク牟ム志シ太タイ夜ヤ佐サ。

由

風フウ俗ゾク乎ハ津ツ久ク波ハ不ズ遠エン川カハ久ク波ハ乎ハ古コ由ユ須ス久ク利リ支シ奴ヌ越ツ過カの。
万葉マン北ノ叡エイ比ヒ波ハ登ト加カ奈ナ奈ナのノ音オン解カあ。こ。此コノ叡エイと。方カタ。

○音韻啟蒙上卷

五十九

與

武烈天皇紀。那為我與。驚擾魔。來。動。万葉十四。布。路與。伎能。和名抄。指。於與比。但。真字伊勢物語。及字。借。て。よ。免。る。と。思。ふ。其。程。も。や。く。與。ふ。ユ。の。音。あ。る。と。と。忘。き。し。や。

良

万葉十一。加。敝。良。末。爾。君。社。吾。爾。

良

風俗我門。之。太。良。古。也。奈。支。

良

万葉十四。由。伎。可。母。布。良。留。又。安。乎。楊。木。能。波。良。路。可。波。

良

刀。爾。根。の。張。

里

和名抄。日向。國。郡。名。諸。縣。牟。良。加。多。

里

法王帝說。阿。米。久。爾。意。斯。波。留。支。比。里。爾。波。乃。彌。已。等。万。

里

葉。北。小。以。母。加。去。去。里。波。又。可。比。曾。比。里。弊。流。

利

安。伎。奈。乃。夜。麻。爾。

利

万葉十四。阿。之。我。利。能。乃。比。能。可。布。知。爾。此外。數。首。見。也。皆。安。思。我。

利

同十五。於。伎。都。白。玉。比。利。比。且。由。賀。奈。

利

同十四。不。乎。具。佐。可。利。馬。利。片。反。名。子。々。ハ。催。馬。樂。逢。路。不。

利

コ。モ。リ。マ。チ。ヤ。セ。ヌ。ラ。ン。ン。モ。リ。子。持。ク。マ。チ。ヤ。ヒ。ヌ。ラ。

流

と。め。ん。不。作。ヤ。ハ。と。め。ん。不。作。ヤ。ハ。と。め。ん。不。作。ヤ。ハ。

流

万葉十六。可。流。羽。須。波。田。盧。乃。毛。等。爾。

○音韻啟蒙上卷

○六十一

流リ 万葉ハ 佐由サユ 流能リノ 波奈能ハナノ 又許禮マカレ 乃波流ハハ 母志モチ
催馬樂階サカ 杏取コ 之奈シ 加止カド 留夜リヤ 為奈ナ 乃見ノミ 奈止ナト 仁ニ 風俗フソク 我

留リ 門カ 志太シダ 留古リコ 也名ヤナ 支和シカ 名抄ナシ 近江チカ 國郡クニノ 名粟ナ 本夫ホト 留毛リモ
止蜀椒トシク 奈留ナリ 波之ハノ 加美カミ 新撰字鏡ニシン 藤支フジ 奴於ヌオ 留戶リウ

留リ 新撰字鏡ニシン 曬佐留須シヤ
留リ 和名抄ワナ 越前エチ 國阪クニ 井部イ 鄉名サト 福留フク 布久フク 呂式リウ 不フ 同郡ドウ 布久

路リ 漏神社ルシ 有詩ウシ 召南シヨウ 舒而シヨウ 脱脱トツトツ 兮ヒ
万葉マン 十四シヨウ 安良ア 波路ハ 萬代マン 母又ボ 布路フ 與伎ユ 能又ノ 許余コ 比登ヒ

呂リ 日本靈異記ニッ 皮呂ヒ 可爾カ 美緣ミ 豆風俗マ 小由コ 流支リウ 不乎フ 礼奈レ
美也ミ 奴呂ヌ 々々クク 毛濱モ 成式シ 夷振ヒ 歌々カ 他麻タ 能美ノ 須麻ス 呂能リ

魯ル 皇極クワ 天皇紀テウ 波魯ハ 魯爾ル 渠騰ケ 曾ソウ 枳キ 舉コ 命メ 屢ル
日本後紀ニッ 廿四ニ 自古コ 行來コト 魯事ル 皇后コト 定類サ 聚國シ 史延シ 曆

十四年シヨウ 云々クク 記美キ 已蘇イ 波和ハ 主黎シ 多魯タ 羅米ラ 爾記ニ 多麻タ 乃ノ 近

漏ル 景行ケイ 天皇紀テウ 夜摩ヤ 苦之ク 千漏セン 破試ハ 万葉マン 五イ 波漏ハ 婆漏ハ 爾

云々クク 平仮ヘイ 名ナ 不フ ルル 口ク 不フ 書シ 古今コ 六帖ロク 不フ かのカ のノ 池

の。入江久らるる。鴨もも。玉藻のうへふむとりぬをく
ふ。清輔朝臣集ふ。石ふもや。つうろのちあ。ありときく。
えぞまの中と思ひたれぬ

為^ヲ 万葉二ふ。打橋生乎為禮流^{レハ}。同三ふ。山邊爾波花咲乎為里^リ。
同九ふ。開乎為流櫻花者^ハ

如此記。おろる中あ。正しき吳音も雜り。又常ふ吳音ふ呼ふ
らひて。是と普通の音ありと。思つるふ。たはく漢音と用ひ
あどして。惣て見馴ざる類。とも姑かへ。異音とて物つ。か
うる音等ハ。己もや。又より。見ふあ。ぐひ。書技あきたり。と。
今思ふ。大方の人。此異音と知らて。普通の音ふのを讀泥

え。是ハその誤。あど。難いまこと。あ。ぬ語ふよと。是と
却て古言こと。云あなも多るが。憤ろ。さふ。如此を抜出
つ。猶洩せるもあなうま。よく古音と尋て。古書とハ。熟くよ
えと。へき業ふあを

音韻啓蒙上卷畢

音階習巻上巻畢

Handwritten musical notation in a vertical column, consisting of various symbols and characters used for musical notation in a traditional East Asian style.



12

